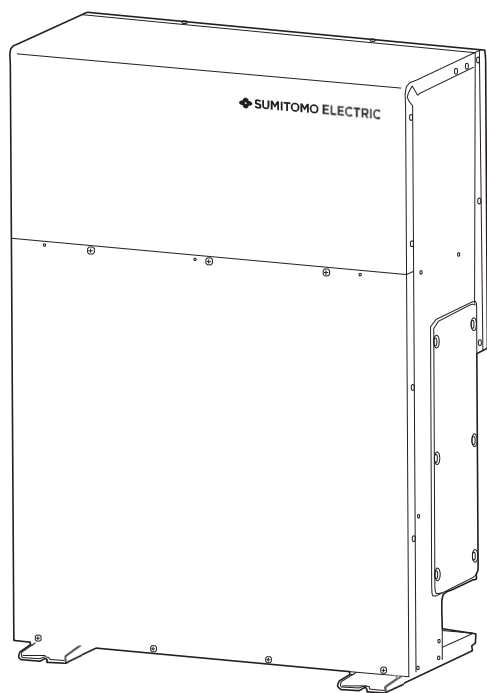


取扱説明書

リチウムイオン蓄電システム POWER DEPO® H

型番 PDH-6000S01

PDH-6000S01A



このたびは、リチウムイオン蓄電システム POWER DEPO® H を
ご購入いただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

■ご使用前に、“安全上のご注意”を必ずお読みください。

■この取扱説明書は、必要なときにすぐに見られる場所に必ず
保管してください。

■この商品を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。

もくじ

はじめに	2
大容量・高出力の単機能・ハイブリッド併用型 リチウムイオン蓄電システム	2
蓄電システム本体各部名称	5
リモコン各部の名称とはたらき	6
リモコンの表示画面の見かた	7
安全上のご注意（よくお読みください）	8
取扱に関する禁止事項（よくお読みください）	9
設置に関する注意事項	10
蓄電システム導入概要フロー	12
初期導入フロー	12
蓄電システム本体の運転・停止	13
運転状態の確認	15
蓄電池・太陽光発電の情報を確認する	15
蓄電池・太陽光発電の電力量情報を確認する	18
各種モード	21
3通りの運転モード	21
緊急充電モード	22
各種設定方法	23
放電を停止する電池残量を設定する	23
充放電の時間を設定する	24
緊急充電モードを設定する	29
画面表示や操作音の設定を変える	32
ネットワークの設定をする	33
ネットワークの設定を確認する	39
ECHONET Lite の接続を設定する	40
日時を設定する	41
契約容量を変更する	43
ソフトウェアを更新する	44
設定を初期化する	45
停電になったときは	47
停電が発生した場合	47
停電時の家電製品の利用について	48
こんなときは	49
リモコンに関して	49
蓄電システム本体に関して	51
停電に関して	51
その他	54
エラー表示に関して	56
エラーの対応方法	56
点検コードを解除する	60
保証とアフターサービス	61
保証について	61
アフターサービスについて	62
見守りサービス	62
お客様の個人情報の取得・取扱いに関して	63
仕様	64
外形寸法	66

はじめに

大容量・高出力の単機能・ハイブリッド併用型リチウムイオン蓄電システム

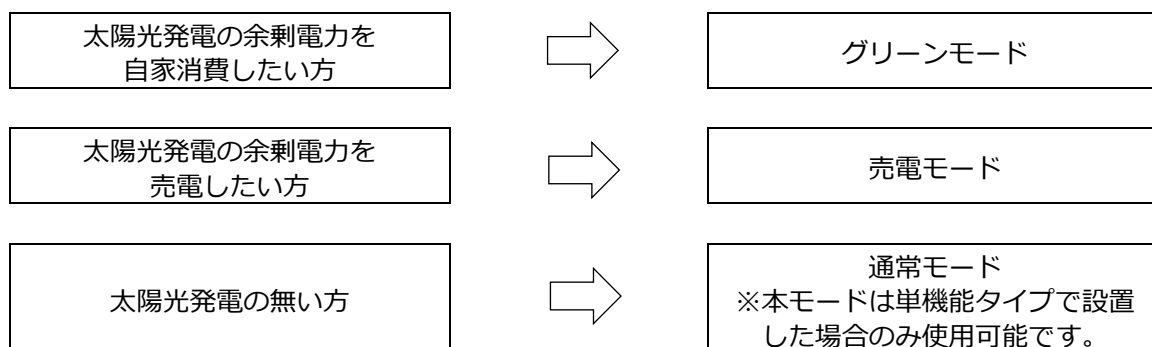
本製品は、内蔵のパワーコンディショナ（PCS）に太陽光パネルを接続するハイブリッドタイプ、外付けの PCS に太陽光パネルを接続する単機能タイプのどちらでも使用することができる蓄電システムです。

大容量（12.8kWh）の蓄電池に昼間に太陽光発電の余剰電力を充電して電力会社からの買電を最小化※すること
でカーボンニュートラル社会の実現に貢献します。

※蓄電池から系統に電力を流さないようにわずかに買電します

●目的に合わせた運転モードを搭載

太陽光発電を活用するだけでなく、発電が少ない日や太陽光発電が無いご家庭でも、電気料金単価が割安な深夜電力時間帯に充電、電気料金単価が高い時間帯に放電すれば電気料金の節約になります。日常のご使用には、ご家庭の環境やお好みに合わせた運転モードを選ぶことができます。



各運転モードの詳細は「3通りの運転モード」(➡ P.21)をご確認ください。

●気象連動 AI を搭載

翌日の天気予報と、ご家庭の過去の発電や消費電力の実績に基づき、毎日最適な蓄電量を AI が予測して夜間の充電電力量を自動で設定します。

※グリーンモード設定時のみ使用可能です。

※インターネットの接続が必要です。

※気象連動 AI は、経済性の向上を保証するものではありません。

●停電時の電源供給の自動切替機能を内蔵

もしもの停電時には蓄電システムがご家庭に必要な電力をあらかじめバックアップした大容量の蓄電池からの電源供給に自動的に切り替えます。(連系運転⇒自立運転)※

※連系運転：電力会社の配電系統に接続して運転している状態

自立運転：停電時にパワーコンディショナの電力を自立運転出力回路から使用して運転している状態

・大容量 12.8kWh※のリチウムイオン蓄電池を搭載しています。

※交流出力の初期実効容量は 11.9kWh です。

・昼間の晴天時は、太陽光発電と蓄電システムを併用して電気を供給します。

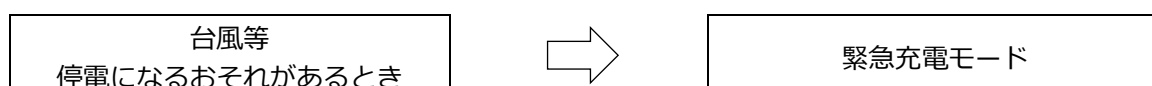
・雨や曇りの日、夜間の停電でも、電気を蓄えていた蓄電システムから放電します。

・最大 6.0kVA の高出力で複数の家電を同時に利用可能です。

※自動切替時に、電源供給が数十秒間途切れますので、接続された家電製品の仕様によっては電源がオフになります。その際は家電製品の電源を入れ直してください。

●停電時でも安心の二つの緊急充電モード

台風等による停電に備えて、電力を蓄電池に貯める緊急充電モードを備えています。緊急充電モードには、気象警報発令をもとに開始する自動緊急充電モードと、任意のタイミングで開始する手動緊急充電モードがあります。緊急充電モードの詳細は「緊急充電モード」(➡ P.22)をご確認ください。



※自動緊急充電モードはインターネット接続が不安定な場合、正しく動作しない場合があります。

●ご家庭にあった最適な蓄電池タイプ（単機能タイプ／ハイブリッドタイプ）を選択可能

既に設置している太陽光パワーコンディショナを引き続き使用する場合は単機能タイプ、本製品のパワーコンディショナを使用する場合はハイブリッドタイプを選択することで、ご家庭にあった使用方法が可能です。途中でタイプを変更することも可能なため、既設のパワーコンディショナが故障もしくは保証が切れた後でもハイブリッドタイプに切替えて、継続使用することができます。

※太陽光パワーコンディショナを併設して使用する場合は、別途オプション品を購入いただく必要があります。

※タイプの変更をする場合は、販売店又は施工業者に御連絡ください。

●リモコンを標準装備

停電時でも操作できるリモコンを標準装備しています。リモコンの画面で太陽光の発電電力、蓄電システムの充電電力と放電電力等が一目でわかります。タッチパネルを採用しており、画面を見ながらボタンをタッチするだけで、かんたんに操作できます。

●無料の見守りサービス

設置後、15年間インターネットを介して、蓄電システムを見守る無料のサービス（「見守りサービス」➡ P.62）を提供していますので、万が一のときも安心です。

※本サービスに使用するルータ、インターネット回線の接続費用はお客様のご負担となります。

※本サービスの利用はお客様の任意であるため、インターネット接続の有無に関して通知することはありません。詳細は「アフターサービスについて」（➡ P.62）をご確認ください。

※本サービスは本製品の異常を検知することを保証するものではなく、あくまで補助的なものです。

●安心の長期保証

長寿命のリチウムイオン蓄電池だから、安心して長くご使用いただけます。

詳細は「保証について」（➡ P.61）をご確認ください。

●スマホモニター（電力見える化サービス）

スマートフォン・パソコンのWEBブラウザにて専用WEBアドレスへ接続*1することで、ご家庭の電気の使用状態を「いつでも」「どこでも」簡単に確認可能となるサービスです。本サービスの初期費用・月額費用は無料*2です。

*1 リモコンと表示機器（スマートフォン・パソコン）のインターネット接続が必須となります。

*2 スマホモニターの利用料は無料ですが、ご利用時にかかるパケット通信料はお客さまのご負担となります。

スマホモニター接続用ログイン URL

<https://srs.powerdepo.sei.co.jp/>



※上記 URL をブックマークしてご使用ください。上記二次元バーコードを読み取ることでアクセス可能です。

スマホモニター取扱説明書



https://sumitomoelectric.com/jp/sites/japan/files/2024-10/download_documents/SRS_manual.pdf

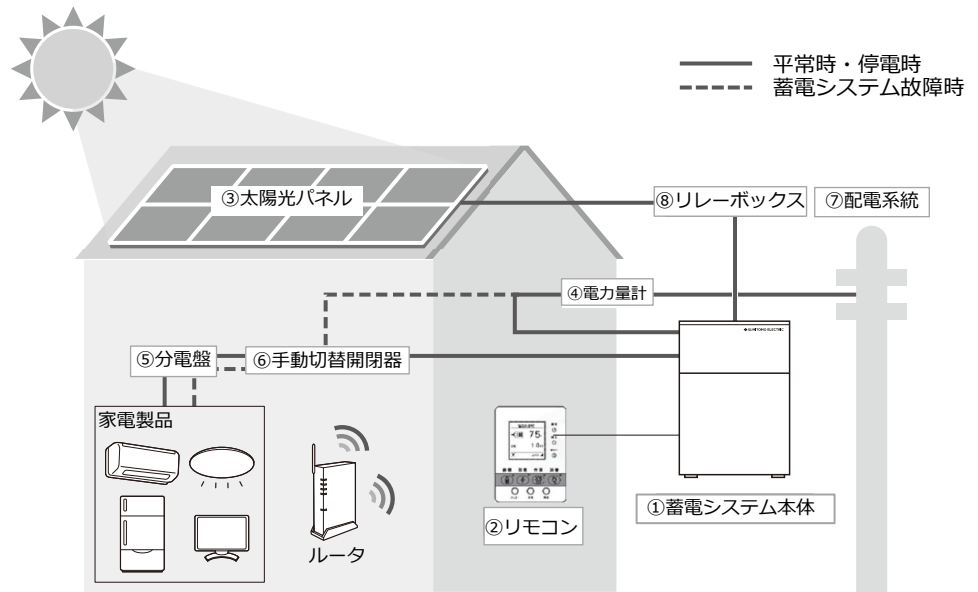
※スマホモニターの操作方法に関しては、上記 URL の取扱説明書をご参照ください。

上記二次元バーコードを読み取ることでアクセス可能です。

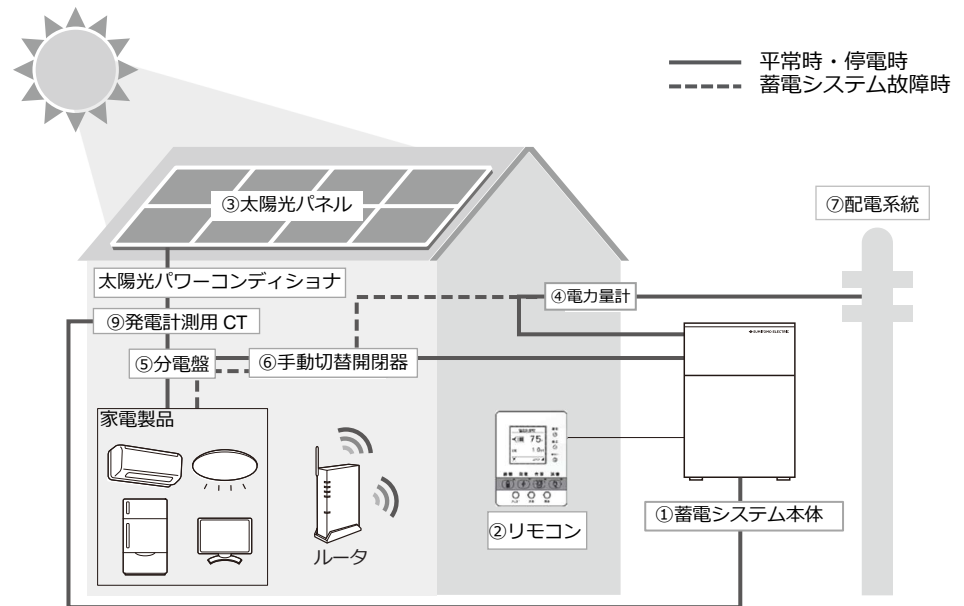
はじめに つづき

●蓄電システム構成例

ハイブリッドタイプ



単機能タイプ



① 蓄電システム本体

太陽光発電または配電系統の電力を蓄えます。必要に応じて蓄えた電力を放電します。また、太陽光発電による余剰電力を電力会社へ送ります（売電）。

② リモコン（本体付属品）

充電・放電状態の表示や各運転モードの設定が行える操作パネルです。

③ 太陽光パネル（PV）

太陽光を受けて発電し、蓄電システムに電気を送ります。

④ 電力量計

電力会社から買った電力（買電）と、電力会社に売った余剰電力（売電）を計量します。

⑤ 分電盤

ブレーカを介して電気を各部屋に分配します。

⑥ 手動切替開閉器（施工業者準備品）

万が一蓄電システムが故障した際のバックアップ切替器です。（➡ P.52～53）

⑦ 配電系統

発電所で発電された電気を利用者に届けるための電力システムです。

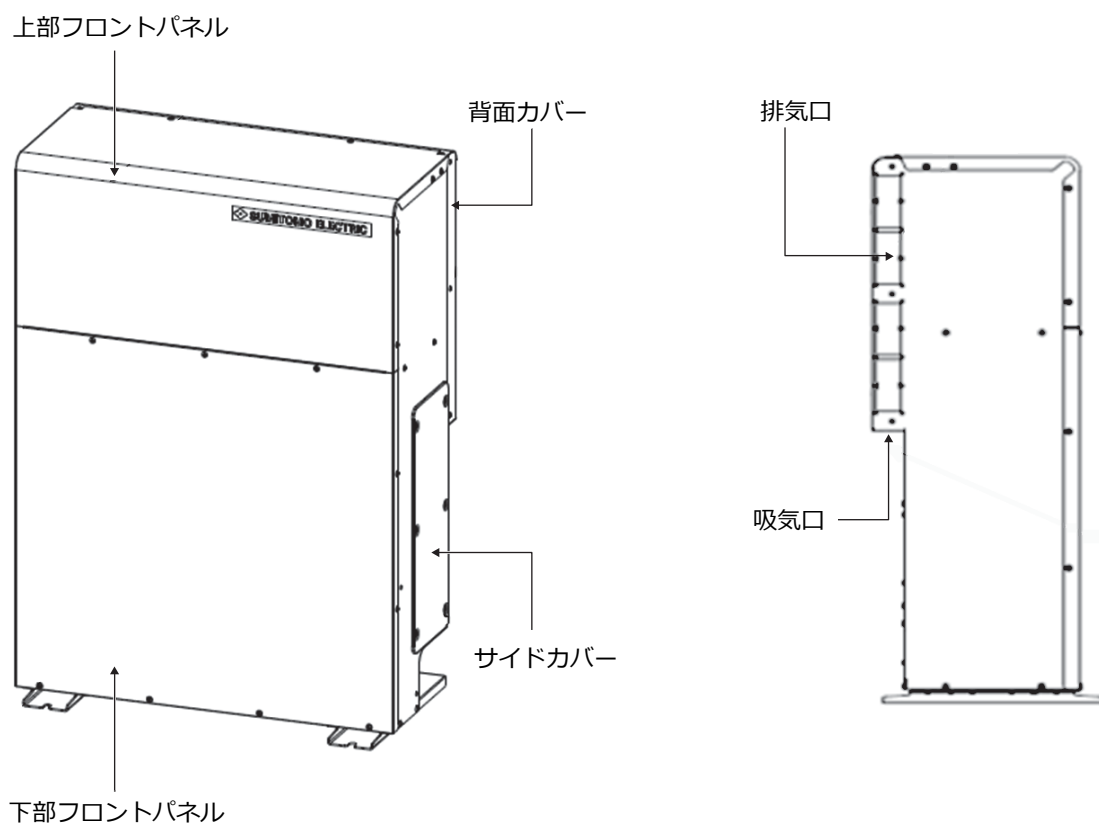
⑧ リレーボックス（オプション品）

既設太陽光パネルが古い場合、設置が必要になる装置です。
リレーボックスの設置要否は販売店にご確認ください。

⑨ 発電計測用 CT（オプション品）

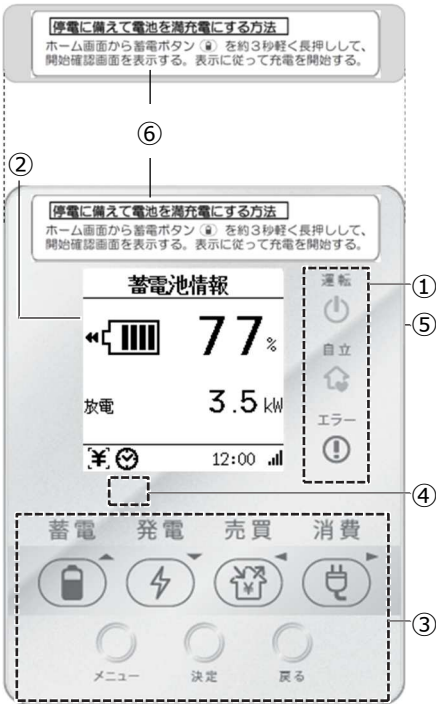
太陽光発電の電力を計測するオプション品です。太陽光パワーコンディショナを併設して使用する場合は、別途購入していただく必要があります。

蓄電システム本体各部名称



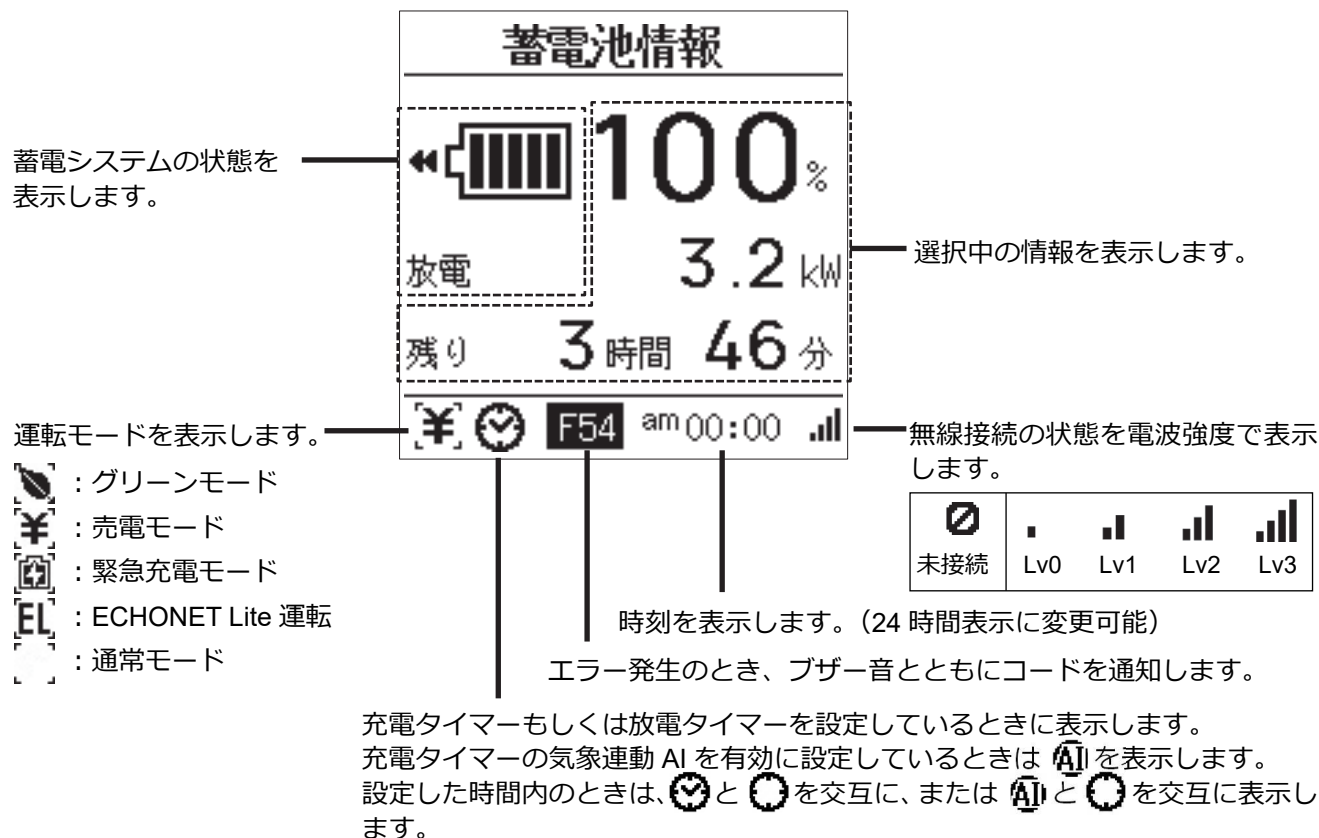
はじめに つづき

リモコン各部の名称とはたらき

	①アイコン		蓄電システムが運転時に点灯し、停止時に消灯します。
			自立運転時に点灯し、連系運転時に消灯します。
			エラー時に点灯します。
	②表示画面	蓄電池の状態、発電電力量、消費電力量、売買電力量を表示します。	
	③操作ボタン (タッチ式のため軽く触れると動作します)		蓄電池の状態を表示します。 緊急充電モードを開始するにはボタンを長押しする(3秒) (メニュー操作のときは、本ボタンに触れると上方向へ移動します)
			発電電力と発電電力量を表示します。 (メニュー操作のときは、本ボタンに触れると下方向へ移動します) 機器情報の確認はボタン軽く長押し(3秒)
			売買電力と売買電力量を表示します。 (メニュー操作のときは、本ボタンに触れると左方向へ移動します)
			消費電力と消費電力量を表示します。 (メニュー操作のときは、本ボタンに触れると右方向へ移動します)
			各メニュー項目を開きます。 長押しする(3秒)=チャイルドロック(解除も長押しする3秒)
			決定します。
			前の画面に戻ります。
	④ブザー	ブザーが鳴ります。(筐体内部にあります)	
	⑤リセットボタン	リモコンをリセットします。(➡ P.50)	
	⑥ラベル (緊急充電)	緊急充電モード(➡ P.22) への簡単な設定変更方法を説明しているラベルです。施工時にリモコンの前面、もしくは上面に貼りつけます。	

リモコンの表示画面の見かた

リモコンは通常時は画面消灯となっています。操作ボタン（メニューボタン等）に触れると画面が点灯します。



- 低温時は蓄電池の特性上、電池の残量が急に低下することがあります。
その際に停止時の電池の残量が 0% でない場合や、放電下限 SOC(➡ P.23)と異なる場合があります。

はじめに

つづき

安全上のご注意（よくお読みください）

- 万一、注意事項に従わず使用された場合の事故や故障などについては、責任を負いかねます。
- 人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- お読みになられたあとも、ご利用されるかたが、読みやすいところに必ず保管してください。

■ 誤った使いかたで生じる危害や損害の程度を区分（警告、注意）に分けて、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負う」おそれがある内容です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生する」おそれがある内容です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

取扱に関する禁止事項（よくお読みください）

警告

 取付工事・修理・移動・再設置・破棄は勝手にしない 電気工事士の資格が無い方が触ることで感電や火災のおそれがあります。 上記の作業を行う場合、お買い上げの販売会社にご連絡ください。	 分解・改造をしない 感電や傷害の原因となります。  子供を近づけない 感電・火災の原因となります。
 災害などにより蓄電システム本体が浸水、水没、変形、破損、転倒などした場合、本製品に近づかない 感電・有害ガスの発生・発熱・発煙・発火・電池の電解液が漏れる危険があります。 すみやかにお買い上げの販売会社にご連絡ください。	 蓄電システム本体とリモコンは蹴ったりして強い衝撃を与えない 変形して短絡することで、発熱・発火・破裂・火災の原因となります。
 蓄電システム本体の上に乗ったり、座ったり、ぶらさがったり、物を置かない 装置が変形・脱落し、けが・感電・故障の原因となります。	 蓄電システム本体の近くに殺虫剤などの可燃性ガスを置かない 引火し、やけど・火災の原因となります。
 蓄電システム本体のフロントパネル等のカバーは絶対に開けない 内部に電圧の高い部分があるため、感電の原因となります。	 蓄電システム下部にある吸気口と側面カバーにある排気口に物（金属、紙、水など）を差し込んだり、中に入れたりしない 火災・感電・故障の原因となります。
 埋込型心臓ペースメーカーおよび埋込型除細動器（ICD）を使用している方は、充電中、給電中の本製品に近づかない 蓄電システム本体からの電磁波が、ペースメーカーおよびICDの作動に一時的な影響を与える場合があります。	 煙が発生したり、変なにおいがする場合は、本製品には近づかない そのまま使用すると火災・感電・故障につながるおそれがあります。 電池の停止（「通常運転・停止」→ P.13～14）を実施した上で、すみやかにお買い上げの販売会社にご連絡ください。
 以下の電気機器を使用する場合はご注意ください ● すべての医療機器、防犯機器、デスクトップパソコンなどの家電およびその周辺電気機器 本製品は無停電電源装置ではないため、数十秒電気が止まる可能性があります。 その際にデータの消失や電気機器が動作しない場合があるため、もし上記製品をご利用される場合は蓄電システムと電気機器の間に無停電電源装置（UPS）をご利用ください。 ● 灯油やガスを用いた暖房機器、および停電から復旧したときに、自動的に運転を開始する電熱機器 本製品は自動で復電するため、上記の電気機器は地震等で転倒した場合に火災などの2次災害につながるおそれがあります。もし利用される場合は転倒防止等の2次災害対策をした上でご利用ください。 ● その他、電源が切れると生命や財産に損害を受けるおそれのある製品 生命や財産に損害を受ける可能性があるため、電源が切れた場合のリスクを考慮した上でご利用ください。	

はじめに つづき

⚠ 注意

⊘ 停電時は負荷が大きい家電は使用しない 大型モータ等、起動時に大きな電力を必要とする場合、蓄電システムの放電が停止する可能性があります。蓄電システムが停止した場合、使用家電を限定してください。	⊘ 点検コードが表示されている状態のまま放置しない 対応方法は「エラーの対応方法」(➡ P.56～60)を参照ください。
⊘ 蓄電システム本体やリモコンの上に物を置かない 物を置くことで故障や発火の原因となります。	⊘ リモコンをぬれた手でふれたり、ぬれた布でふかない 故障や感電の原因となります。
⊘ シンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品を含んだ布でふかない 製品の変色の原因となります。	⊘ 蓄電システム本体の排気口はふさがらない 排気口をふさぐことで、故障や火災の原因となります。

設置に関する注意事項

⚠ 警告

⊘ 次のような場所への設置は行わない		
	蓄電システム本体	リモコン
	● 日本国外 ● 次の温湿度範囲以外のところ 温度：-20～+45℃、湿度：15～90%RH (ただし、結露なきこと) 詳細は、お買い上げの販売会社にご確認ください。 ● 積雪により製品が埋没するところ（積雪地域に設置する場合は、屋根／囲い等を設ける） ● 塩害地域（日本冷凍空調工業会標準規格 JRA9002-1991「空調機器の耐塩害試験基準」に基づく）詳細は、お買い上げの販売会社にご確認ください。 ● 直射日光が当たるところ ● 指定の取付スペースを確保できないところ ● 過度の水蒸気、油蒸気、煙、塵埃、腐食性物質、爆発性／可燃性ガス、化学薬品、火気の近くまたはおそれがあるところ ● 浸水のおそれがあるところ ● 温度変化の激しいところ（結露のあるところ） ● 騒音について激しい制約を受けるところ ● 振動、衝撃の影響が大きいところ ● 近くに電波妨害を受けやすい設備・機器があるところ ● 岩礁隣接地域 ● 風通しが悪いところ	● 屋外 ● 温度変化が激しいところ ● 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ ● 振動、衝撃の影響が大きいところ ● 水蒸気、油蒸気、雨水、結露のあるところ ● 浸水のおそれがあるところ ● 電界の影響が大きいところ ● 直射日光が当たるところ ● 次の温湿度範囲以外のところ 温度：-10～+40℃、湿度：25～85%RH (ただし、結露および氷結なきこと) ● 通風を妨げ、使用条件温度を超えるような押入れや階段下などの狭い場所 ● 操作が困難で、表示部が確認しづらいところ

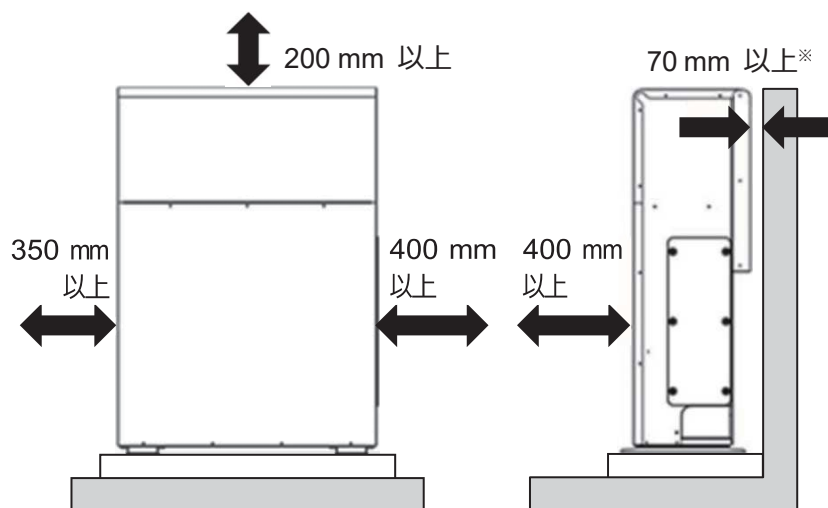
⚠ 警告



下図に示すスペースへ設置する

●アンカー固定、簡易基礎※共通

※背面距離は選択する基礎によって異なります。



無線通信機器内蔵について

本蓄電システムの室内リモコンには、電波法に基づく電力データ通信システムの無線局として、工事設計確認証を受けた無線設備を内蔵しています。

認証番号 211-160302
無線設備名 GS2101MIP



R 211-160302

蓄電システム導入概要フロー

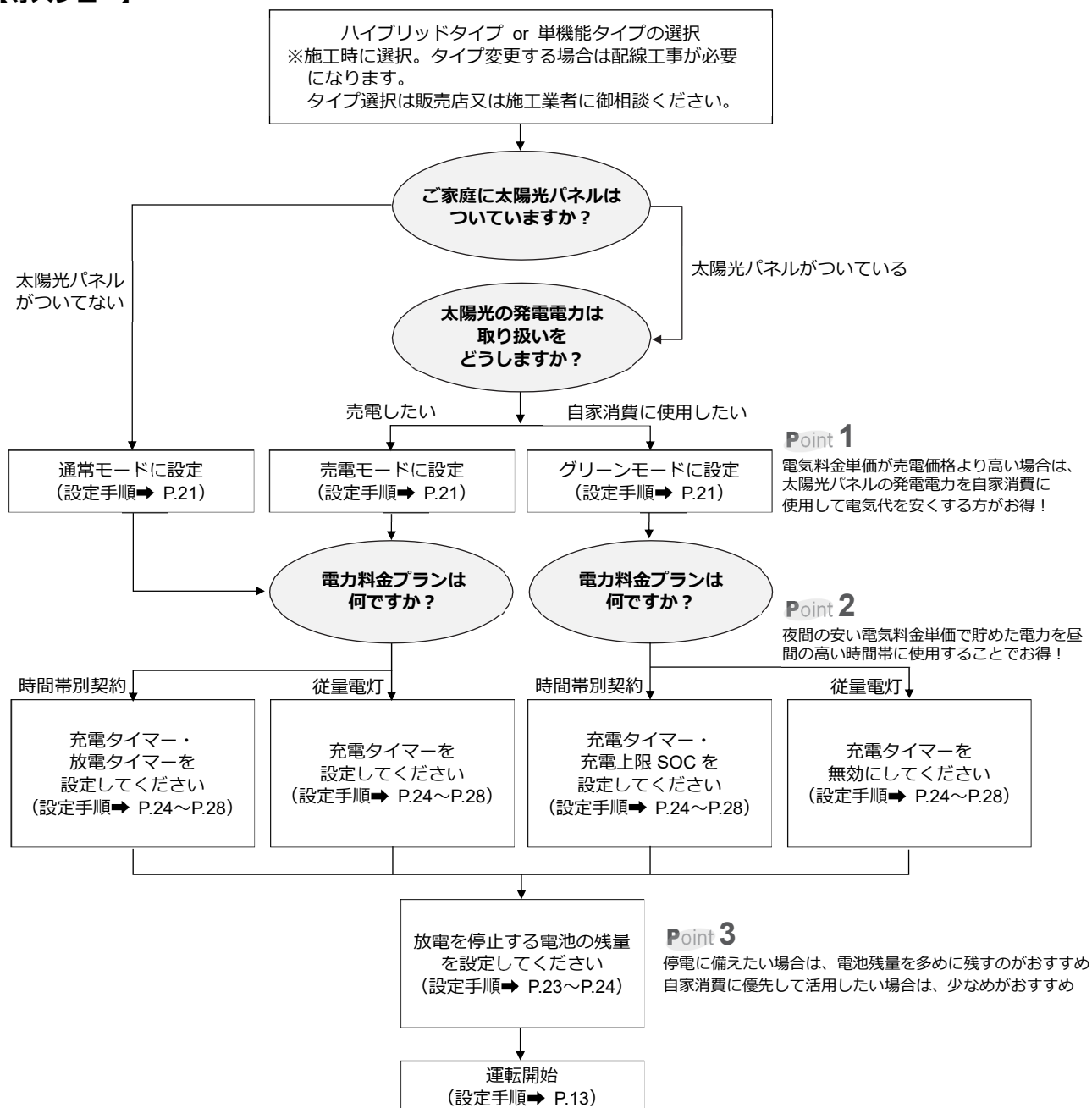
初期導入フロー

蓄電システム設置時の導入フローは以下手順に沿って運転を開始してください。

※本設定は設置時に施工業者にて完了している場合もありますので、設定がどこまで完了しているか施工業者にご確認ください。

また設定を途中で変更したい場合（例：電気料金プランの変更）も本手順を実施することで、最適な設定に変更することができます。

【導入フロー】



蓄電システム本体の運転・停止

通常運転・停止

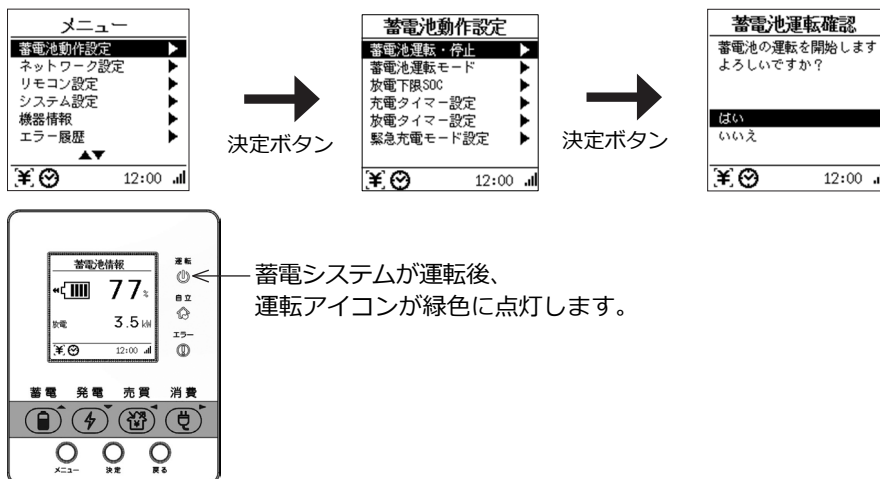
電力会社からの電力または太陽光パネル（PV）で発電した電力・蓄電した電力を分電盤に供給します。

●運転を開始する

1 リモコンのメニューボタンに触れる



2 メニュー→蓄電池動作設定→蓄電池運転・停止を選び、「はい」にカーソルを合わせ、決定ボタンに触れる



蓄電システム本体の運転・停止

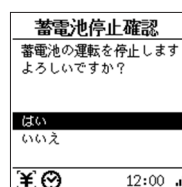
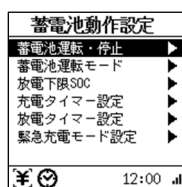
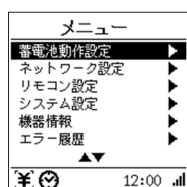
つづき

●運転を停止する

1 リモコンのメニューボタンに触れる



2 メニュー→蓄電池動作設定→蓄電池運転・停止を選び、「はい」にカーソルを合わせ、決定ボタンに触れる



蓄電システムが停止後、
運転アイコンが消灯します。

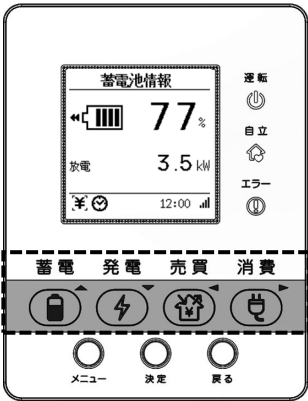
※運転を停止した場合、発電および蓄電が動作しません。発電および蓄電を実施したい場合は、忘れずに運転を開始してください。

運転状態の確認

蓄電池・太陽光発電の情報を確認する

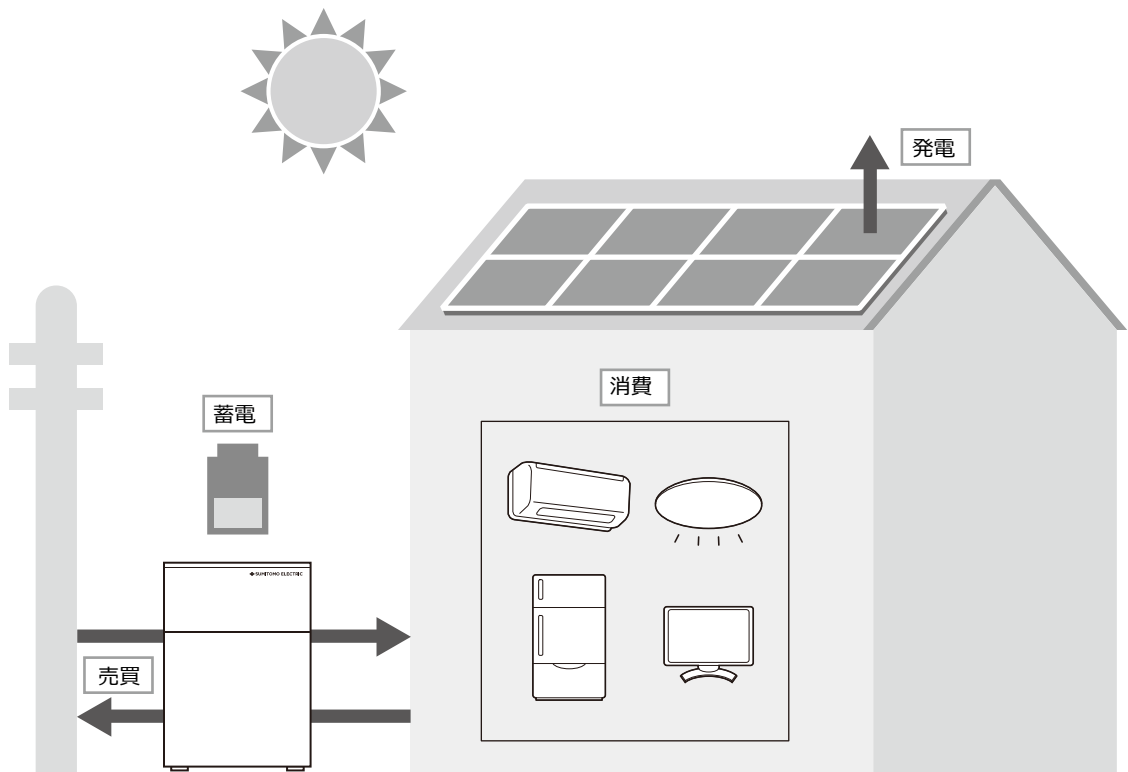
蓄電池残量や太陽光発電量の情報を本画面にて確認することができます。

■リモコン操作ボタンと表示情報に関して



【ボタンごとの表示される情報】

蓄電	発電	売買	消費
電池残量、 充電または放電電力	太陽光パネル（PV）の電力、 太陽光パネル（PV）の電力量 （積算値／日）	売買電力、 売買電力量 （積算値／日）	住宅の消費電力、 住宅の消費電力量 （積算値／日）



運転状態の確認

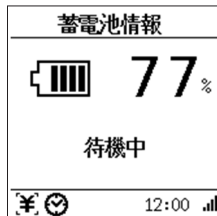
つづき

●蓄電池情報の表示

🔋（蓄電）ボタンに触れると、蓄電池の電池残量、放電電力または充電電力、残り使用時間（自立運転のときのみ）を表示します。

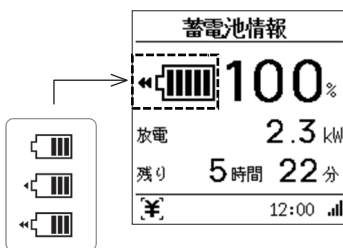
・待機中

蓄電システムが、待機中のときに表示します。



・放電中

蓄電システムが、放電しているときに表示します。



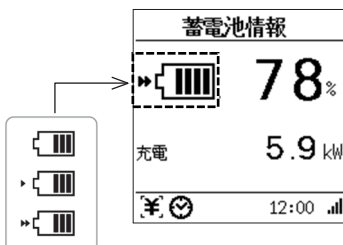
●残り使用時間は、自立運転のときに表示し、連系運転のときは表示されません。

※残り使用時間はあくまでも目安です。負荷の使用状況によって変動します。

放電状態をアニメーションで表示します。

・充電中

蓄電システムが、充電しているときに表示します。



充電状態をアニメーションで表示します。

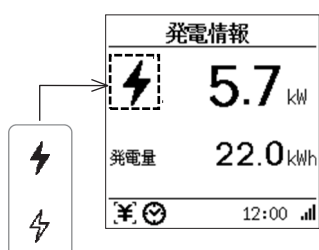
●低温時は蓄電池の特性上、蓄電池の残量が急に低下することがあります。

その際に停止時の電池残量が0%でない場合や、放電を停止するときの電池残量設定（放電下限 SOC）と異なる場合があります。

●高温や低温のときには、蓄電池保護のために最大充放電電力が定格より小さくなる場合がありますが、故障ではありません。

●発電情報の表示

⚡（発電）ボタンに触れると、発電電力、発電電力量を表示します。



発電電力量は当日の積算値を表示します。深夜0時でリセットします。

発電状態をアニメーションで表示します。

※電圧抑制や出力抑制の動作をした場合、以下のように表示します。

発電情報	発電情報
 5.9 kW 電圧抑制中 発電量 26.5 kWh	 5.9 kW 出力抑制中 発電量 26.5 kWh
  12:00	  12:00

出力抑制や電圧抑制は自動で発動／解除します。リモコンの操作は必要ありません。

電圧抑制：配電系統の電圧が高くなったときに、自動で出力を制限して電圧の上昇を抑制します。

出力抑制：電力系統全体で余剰電力が発生するときに、電力会社の要請にしたがって出力を抑制します。

単機能タイプとハイブリッドタイプの併設太陽光 PCS ありとなしの発電情報は、以下のように表示します。

	単機能タイプ	ハイブリッドタイプ
併設太陽光 PCS あり	併設太陽光 PCS の発電量	・蓄電システム PCS の発電量 + 併設太陽光 PCS（全体） ・蓄電システム PCS の発電量（本体） ・併設太陽光 PCS（併設）
併設太陽光 PCS なし	発電量なし	蓄電システム PCS の発電量

PCS = パワーコンディショナ

エネファームが併設されている場合、エネファームの発電電力は蓄電システムの表示には反映されません。

エネファームの発電電力は、エネファームのリモコンの表示をご確認ください。

● 売買情報の表示

（売買）ボタンに触れると、売買情報を表示します。

・ 売買なし

売買情報
 売買なし 売電量 21.6 kWh 買電量 14.3 kWh
  12:00

買電電力量、売電電力量は当日の積算値を表示します。深夜 0 時でリセットします。

・ 売電中、買電中

売買情報
 2.7 kW 売電量 21.7 kWh 買電量 14.3 kWh
  12:00

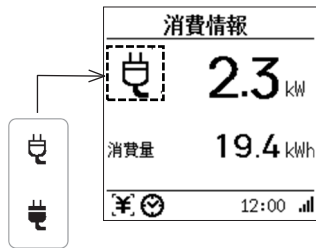
売買状態をアニメーションで表示します。

運転状態の確認

つづき

●消費情報の表示

⏻ (消費) ボタンに触れると、消費情報を表示します。



消費電力量は当日の積算値を表示します。深夜0時でリセットします。

消費状態をアニメーションで表示します。

エネファームが併設されている場合、消費情報が実際の家庭内の消費電力と異なる可能性があります。
正しい消費情報はエネファームのリモコン表示をご確認ください。

蓄電池・太陽光発電の電力量情報を確認する

太陽光発電電力量、蓄電池の充放電電力量、消費電力量、売買電力量を総積算、年ごと、月ごと、日ごとに表示できます。

なお、表示量は目安です。

※日時設定を変更したときは、変更時間帯を含む電力量データが正しく表示されません。

- ・蓄電システムの設置時から現在までの過去15年間の表示が可能です。
- ・電力量データは30分ごとに更新されます。(** : 30、** : 00)
- ・15年を超えると古い日付のデータから自動的に消去されます。
また、室内リモコンを修理交換したときも同様にデータが消去されます。
- ・電力量表示の表示最大値を超えた場合は、すべて「9」で表示されます。
- ・設置日より過去または、当日以降の未来については、表示するデータがないため「-」で表示されます。
- ・メニュー内の設定初期化操作をしても電力量情報は初期化されません。

●発電電力量情報（年別）の表示

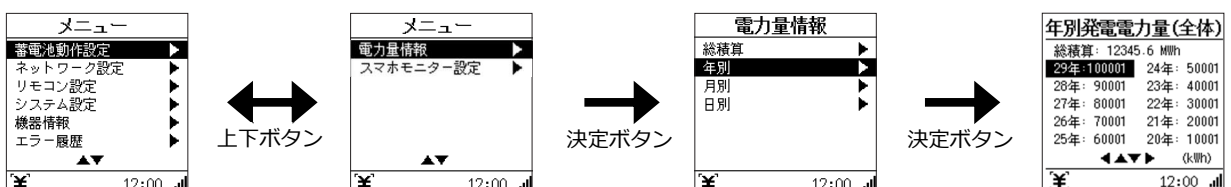
1 リモコンのメニューボタンに触れる



2 メニュー→電力量情報から上下ボタンで年別を選び、決定ボタンに触れる

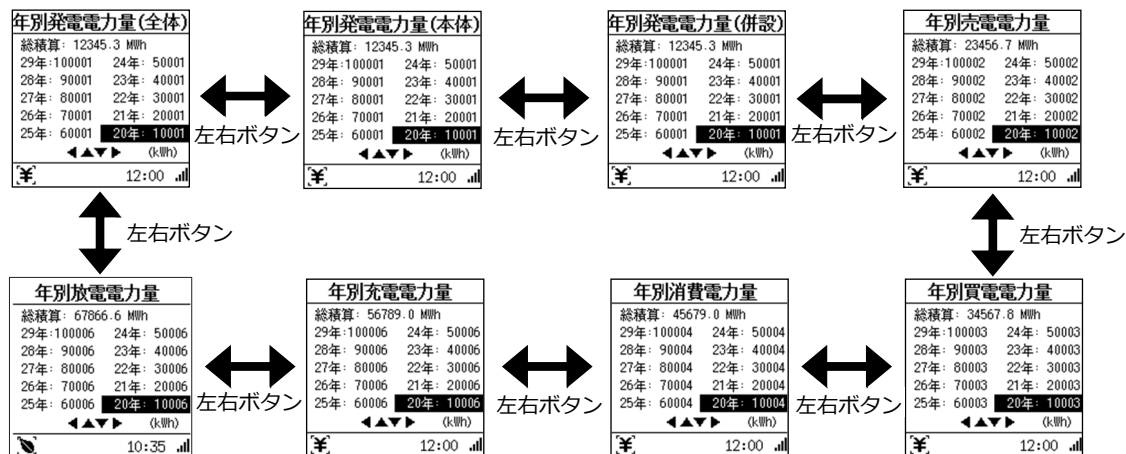
上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。

戻るボタンまたは左ボタンで表示を戻すことができます。

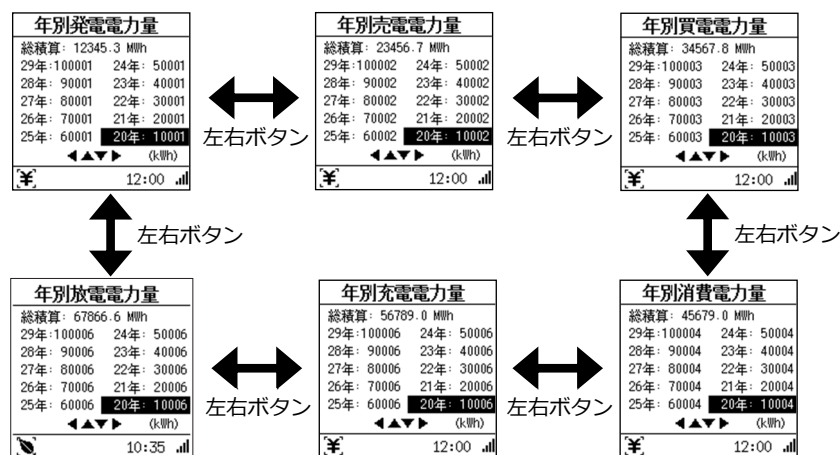


左右ボタンを操作すると発電、売電、買電、消費、充電、放電電力量に切り替わります。
併設太陽光 PCS ありの場合、蓄電システム PCS+併設太陽光 PCS の発電量（全体）、蓄電システム PCS の発電量（本体）と併設太陽光 PCS の発電量（併設）を表示します。
以下に発電電力量情報を見る操作例を示します。

ハイブリットタイプの併設太陽光 PCS ありの場合、表示する画面。



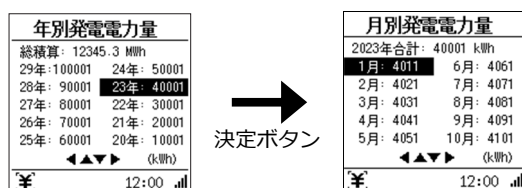
単機能タイプの併設太陽光 PCS あり、またはハイブリットタイプの併設太陽光 PCS なしの場合、表示する画面。



単機能タイプの併設太陽光 PCS なしの場合は、年別発電電力量の画面はありません。

●発電電力量情報（月別）の表示

3 P.18 の手順 2 から上下ボタンで確認したい年の電力情報を選び、決定ボタンに触れる



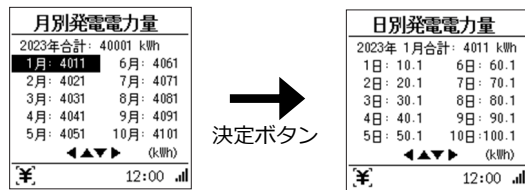
なお、電力情報の月別を選択しても同様の表示となります。



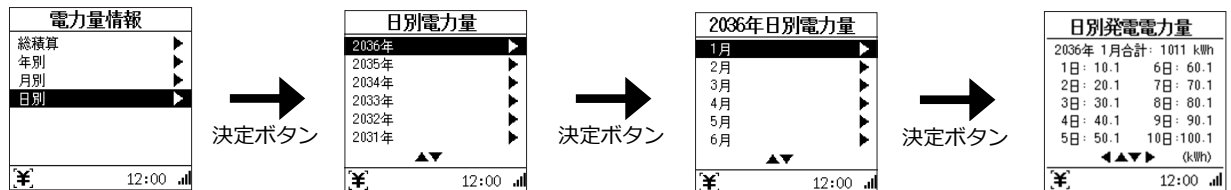
運転状態の確認 つづき

●発電電力量情報（日別）の表示

4 P.19 の手順 3 から上下ボタンで確認したい月の電力情報を選び、決定ボタンに触れる



なお、電力情報の日別を選択しても同様の表示となります。



●総積算の表示

5 P.18 の手順 2 の電力情報画面から上下ボタンで総積算を選び、決定ボタンに触れる

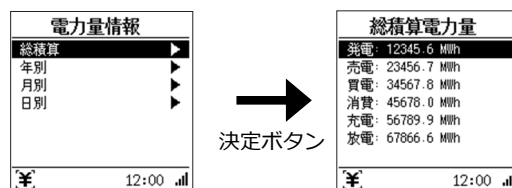
設置してから現在までの各電力量の総合計を表示します。

併設太陽光 PCS ありの場合、蓄電システム PCS+併設太陽光 PCS の発電量（全体）、蓄電システム PCS の発電量（本体）と併設太陽光 PCS の発電量（併設）を表示します。

ハイブリットタイプの併設太陽光 PCS ありの場合、表示する画面。



単機能タイプ併設太陽光 PCS あり、またハイブリットタイプなしの場合、表示する画面。



単機能タイプ併設太陽光 PCS なしの場合は、発電の総積算電量は表示しません。

各種モード

3 通りの運転モード

■動作説明

※実線が太陽光発電電力例、点線は消費電力例を示しています。

グリーンモード (⇒P.24) 太陽光発電の余剰電力を蓄電池に充電して、発電が不足するときに蓄電池を放電するモードです。電気料金が割安な時間帯に電力会社から購入した電力で蓄電池の充電を行う充電タイマーと併用することができます。 充電タイマーで貯める電力量は、ユーザー様による固定値設定と、気象連動 AI による自動設定を選択することができます。 ※気象連動 AI を選択すると、天気予報、過去の発電と消費電力の実績に基づいて、充電タイマーによる目標電池残量が自動設定されます。	
売電モード (⇒P.25) 太陽光発電の余剰電力を売電するモードです。充電は電気料金が割安な時間帯に行い、放電を割高な時間帯に設定することで、電気料金の節約が可能になります。放電の時間帯は、蓄電池は契約形態に応じて放電動作を行います。 ※充放電時間の設定 (⇒P.24～P.28) ※蓄電池の過放電状態が続くと強制的に充電されます。	
通常モード (⇒P.25) 太陽光パネルが設置されていない場合、電気料金が割安な夜間の時間帯に充電を行い、放電を割高な時間帯に設定することで、電気料金の節約が可能になります。 ※本モードは単機能で電池のみの設定時のみ使用可能なモードとなります。	

契約設定により、選択できる運転モードが異なりますので、ご注意ください。

●外部機器として太陽光パワーコンディショナを併設しないとき

タイプ	ハイブリッド		単機能
契約設定	シングル (押上効果なし)	ダブル (押上効果あり)	電池のみ
選択可能な運転モード	・グリーンモード ・売電モード	・売電モード	・通常モード

各種モード つづき

●外部機器として太陽光パワーコンディショナを併設するとき

タイプ	ハイブリッド	単機能
契約設定	シングル（押上効果なし）	シングル（押上効果なし）
選択可能な運転モード	・グリーンモード ・売電モード	・グリーンモード ・売電モード

※契約設定を変更する場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

■知っておいていただきたいこと

●動作について

電気の使用量が多い場合、

- ① 電池残量 0%の状態が続くと、蓄電池の保護のために、
 - ② 放電下限 SOC (⇒P.23)を下回った状態が続くと、お客様のご使用方法に不都合のないように、電気のご使用量等に関係なく強制的に充電状態※になります。本動作は故障ではありませんのでご安心ください。
- ※①はリモコンの表示画面に「強制充電」のメッセージが表示されます。

緊急充電モード

■動作説明

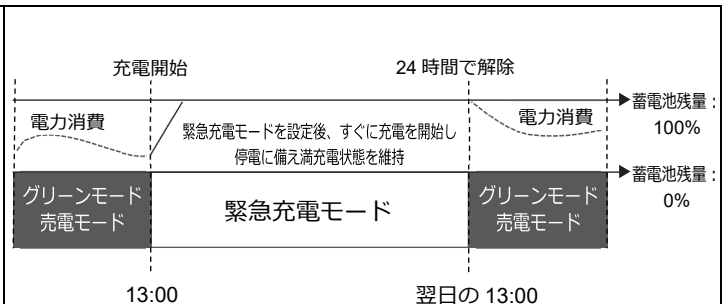
緊急充電モード (⇒P.29～P.31)

非常時の停電に備えて蓄電池に電力を貯めることを目的として使用するモードです。

緊急充電モードを開始した場合、蓄電池残量 100%まで充電し、その状態を維持します。

緊急充電モード開始後 24 時間経過で解除し、設定前のモードに戻ります。

任意のタイミングで緊急充電モードを開始する手動設定と、設置エリアに気象警報の発令された場合、緊急充電モードを開始させる自動設定があります。



緊急充電モードを自動に設定した場合、下記の気象警報が発令されると自動で緊急充電を開始します。

対象の警報	「特別警報」 大雨特別警報、大雪特別警報、暴風特別警報、暴風雪特別警報
	「警報」 大雨警報、洪水警報、大雪警報、暴風警報、暴風雪警報

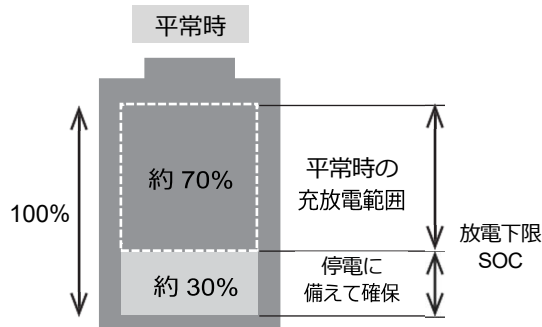
●工場出荷時の設定

工場出荷時	ハイブリッドタイプ、シングル契約、グリーンモード、緊急充電モード：無効
-------	-------------------------------------

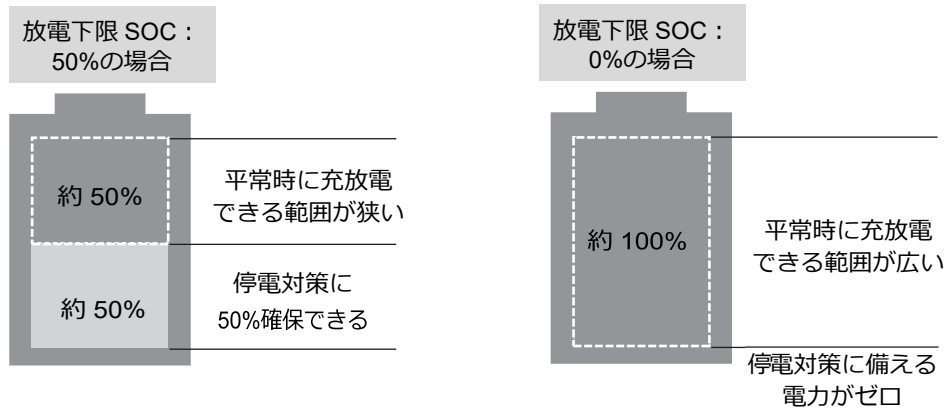
各種設定方法

放電を停止する電池残量を設定する

本設定は停電時に備えた電池残量（SOC：State Of Charge）設定となります。設定により平常時の充放電範囲と停電時に備える充電量を設定可能です。電池残量が放電下限 SOC を下回った際に放電を停止します。初期値は 30% となっております。



停電対策と平常時の蓄電池使用バランスを考慮して設定してください。



※停電時は本設定に関係なく 0%まで放電します。

そのため、電気のご使用状況等によっては、電池残量が設定した放電下限 SOC を下回る場合があります。復電後、放電下限 SOC を大幅に下回る場合は設定値まで、補充電が行われます。

■放電下限 SOC の設定方法

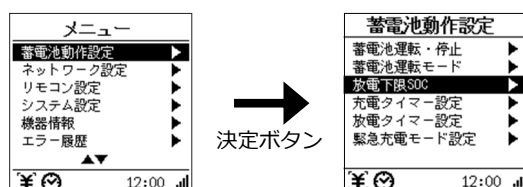
1 リモコンのメニューボタンに触れる



2 メニュー→蓄電池動作設定→放電下限 SOC を選ぶ

放電下限 SOC の画面が表示されます。

- ・上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。戻るボタンまたは左ボタンで表示を戻すことができます。



各種設定方法 つづき

3 上下ボタンで下限値を設定し、決定ボタンに触れる

上下ボタンで、0%、10%、20%、30%、40%、50%の中から選択できます



※放電下限 SOC

単機能タイプ：30%、40%、50%

ハイブリッドタイプ：0%、10%、20%、30%、40%、50%から選択出来ます。初期値は 30% です。

単機能タイプでは電池残量が 0% になると、復電するまで動作することができないため放電下限 SOC の設定下限を 30% としています。

ハイブリッドタイプでは停電時に電池残量が 0% となっても太陽光発電の電力で動作することが出来るため放電下限 SOC の設定下限は 0% としています。

充放電の時間を設定する

通常運転時の充電開始／停止時刻、放電開始／停止時刻を設定できます。運転モードによって設定できる値が異なります。

■各モードのタイマー設定

	運転モード	グリーンモード	売電モード
充電タイマー設定	有効設定	有効／無効を選択	有効
	充電時間帯設定	開始時刻と終了時刻を分単位で設定 設定可能範囲： 22:00～8:59（気象連動 AI 有効時）／ 制限なし（気象連動 AI 無効時）	開始時刻と終了時刻を分単位で設定 設定可能範囲： 放電タイマーと重ならない範囲
	充電上限 SOC	自動設定、通信異常時は 0～100%固定値設定（気象連動 AI 有効時）／ 0～100%固定値設定（気象連動 AI 無効時） 放電下限 SOC より大きい範囲で設定可能（共通）	100%
放電タイマー設定	有効設定	設定不可	有効／無効を選択
	放電時間帯設定	設定不可	開始時刻と終了時刻を分単位で設定 設定可能範囲： 充電タイマーと重ならない範囲

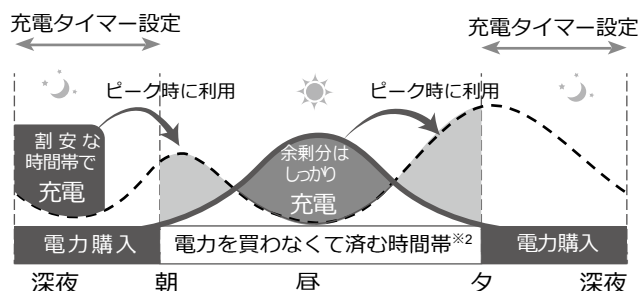
※電力会社の料金プランの安い時間帯をご確認した上で充電時間・放電時間を適切に設定ください。

■グリーンモードの場合

グリーンモードの場合、充電タイマーの有効／無効を設定できます。

充電タイマーを有効にした場合

充電開始時刻・終了時刻、充電を停止する電池残量（充電上限 SOC）を設定できます。



※ 実線が太陽光発電電力例、点線は消費電力例を示しています。

※2 蓄電池から指定の残量まで放電すると買電します。

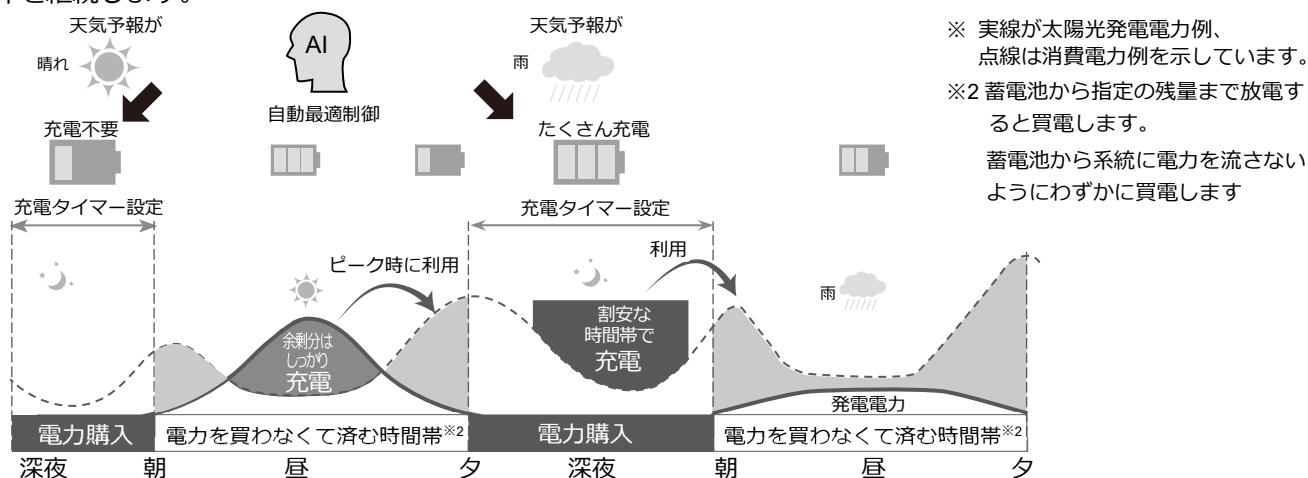
蓄電池から系統に電力を流さないようにわずかに買電します。

充電上限 SOC は、充電タイマー期間内の充電を停止する電池残量（SOC：State Of Charge）を設定できます。本機能により夜間の買電電力を制限することが可能です。

充電タイマー期間外は、充電停止する蓄電池の残量設定（充電上限 SOC）は 100% です。

気象連動AIを有効にした場合

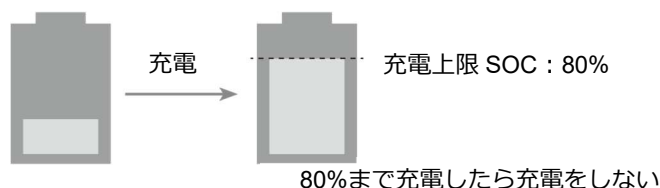
設置場所の翌日の天気予報、過去の発電実績、過去の消費電力の実績に基づいて、充電タイマー期間の充電上限SOCを自動で設定します（リモコンの「充電タイマー設定」で設定した充電上限SOCを無視します）。通信異常で天気予報が取得できないなど、自動設定ができない場合は、手動で設定された充電上限SOC値を設定し動作を継続します。



※設置場所のエリア区分は下記、気象庁ホームページの細分区域等一覧表の一次細分区域をご参照ください。
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/yougo_hp/shichoson_ichiran.html

工場出荷時	充電タイマー（無効） ※充電タイマーを有効にした場合の初期値：充電タイマー（有効：23:00～6:59）、気象連動AI（有効）、充電上限SOC（40%）
-------	---

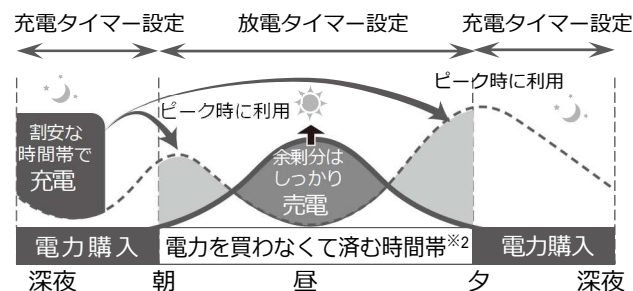
充電上限SOC (イメージ)



■売電モード・通常モードの場合

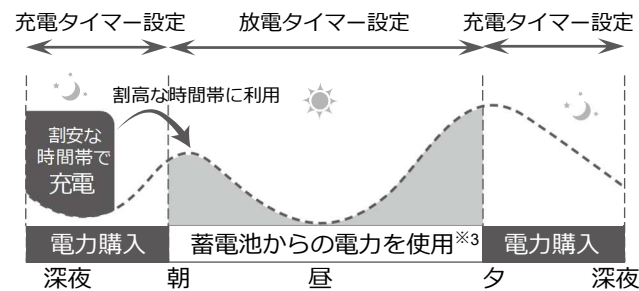
充電タイマー（充電開始／停止時刻）と放電タイマー(放電開始／停止時刻)の両方が設定できます。

売電モードの場合



※2 蓄電池から系統に電力を流さないようにわずかに買電します

通常モードの場合



※3 蓄電池から指定の残量まで放電すると買電します。蓄電池から系統に電力を流さないようにわずかに買電します

売電モードでは、充電タイマー設定※1が必ず設定されていることをご確認ください。設定されていない場合、蓄電池の残量がゼロ※1になる可能性がありますのでご注意ください。充電時間の設定は「太陽光発電の電力が発生しない時間帯」かつ、「電気料金の安い時間帯」に設定いただくのが推奨となります。

放電タイマー設定は「有効」に設定しなくても、負荷容量に合わせて放電（最大 6.0kW）します。蓄電システムの放電時間を制限したい場合に時間を設定ください。

※1 太陽光パワーコンディショナの定格出力以上に太陽光発電が発生した場合は、充電タイマー設定の時間外でも充電する場合があります。また電池残量がゼロになった場合でも、蓄電システムの太陽光パワーコンディショナ機能は動作します。

※ 周囲温度が低い場合、設定された充電タイマー時間内に 100%にならない場合がありますが故障ではありません。

工場出荷時	充電タイマー（有効：23:00～6:59）、放電タイマー（無効） ※放電タイマーを有効にした場合の初期値：放電タイマー（有効：7:00～22:59）
-------	---

各種設定方法 つづき

■ 充電タイマーの設定

1 リモコンのメニューボタンに触れる

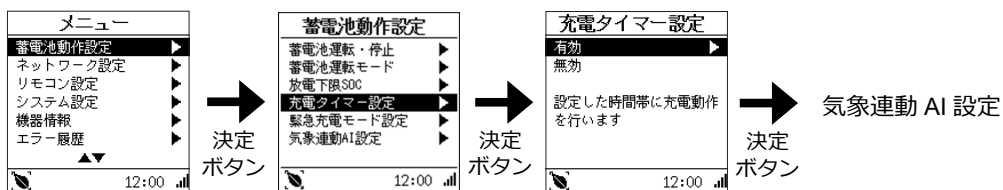


2 メニュー→蓄電池動作設定→充電タイマー設定から、充電タイマーの設定をする

上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。
戻るボタンまたは左ボタンで表示を戻すことができます。

●グリーンモードの場合

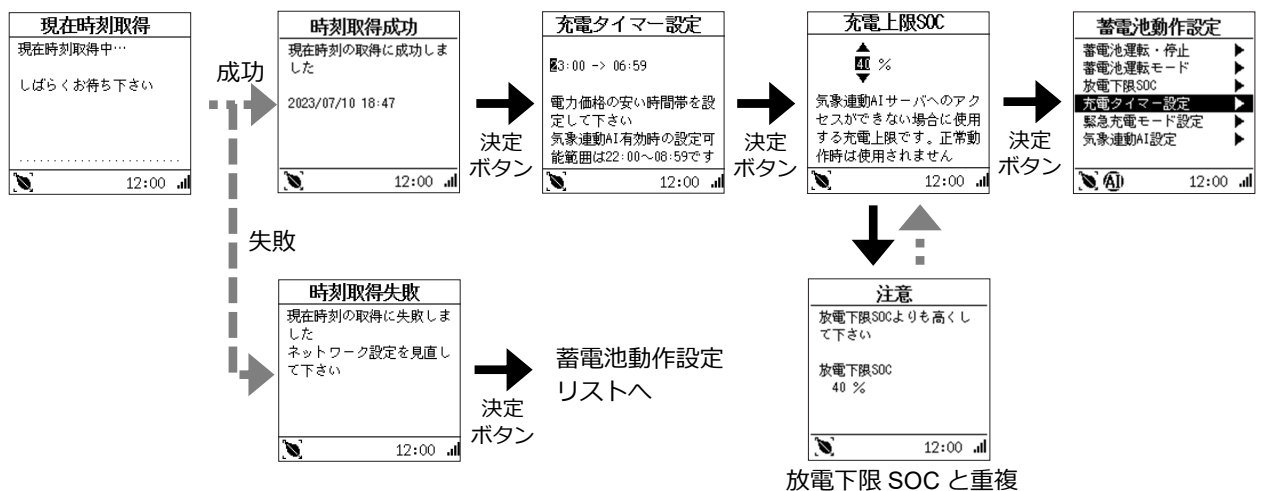
充電タイマーの設定が不要の場合は「無効」を選択してください。



気象連動AI設定：有効 の場合

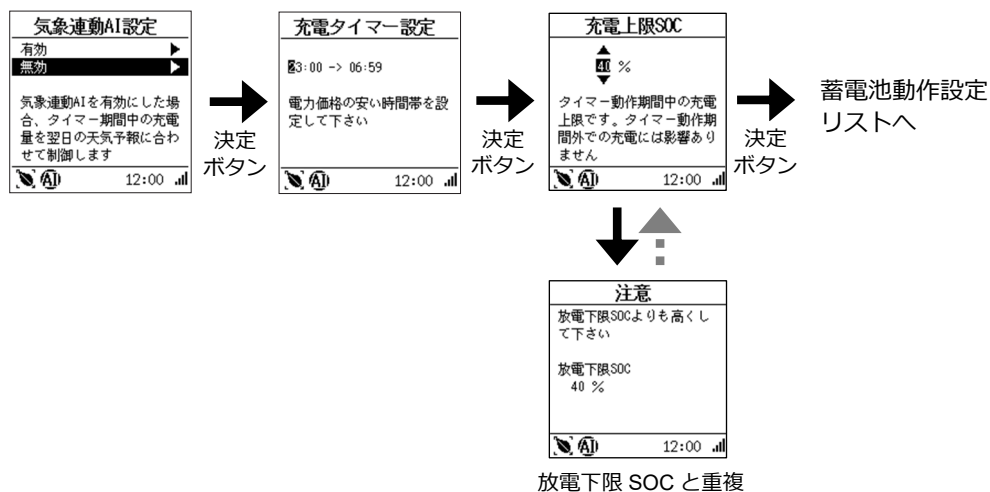


現在時刻取得



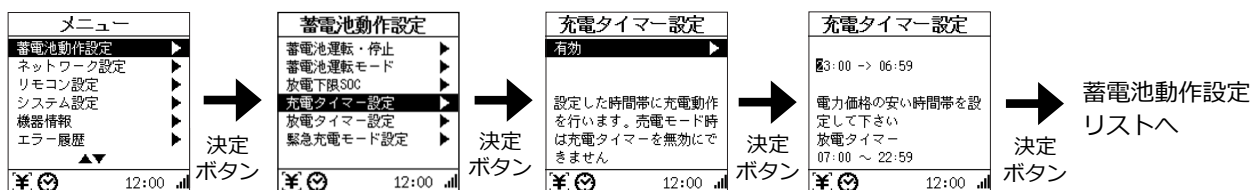
放電下限 SOC と重複

気象連動 AI 設定：無効 の場合



●売電モード・通常モードの場合

充電タイマー設定



■知っておいていただきたいこと

気象連動 AI と充電タイマーの設定した内容の保存は、設定後に決定ボタンに触れて、蓄電池動作設定画面に戻ることによって確定します。

各種設定方法 つづき

■ 放電タイマーの設定（売電モード・通常モードのみ設定可能）

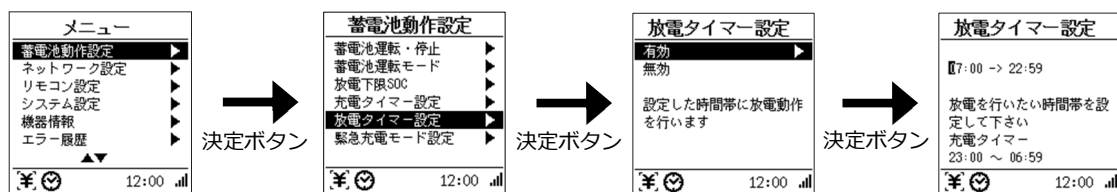
1 リモコンのメニューボタンに触れる



2 メニュー→蓄電池動作設定→放電タイマー設定から、放電タイマーの設定をする

設定不要の場合は「無効」を選択してください。

上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。
戻るボタンまたは左ボタンで表示を戻すことができます。

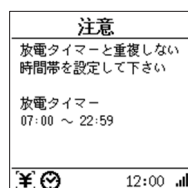


充電タイマー時間と放電タイマー時間を重ねて設定した場合は、以下の警告を表示します。

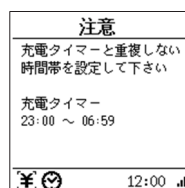
[充電タイマー設定の場合]：「放電タイマーと重複しない時間帯を設定して下さい」と表示します。

[放電タイマー設定の場合]：「充電タイマーと重複しない時間帯を設定して下さい」と表示します。

充電タイマー設定の場合



放電タイマー設定の場合

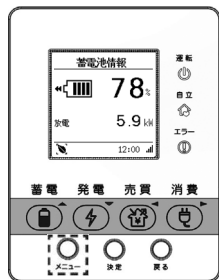


緊急充電モードを設定する

■緊急充電モード自動切替

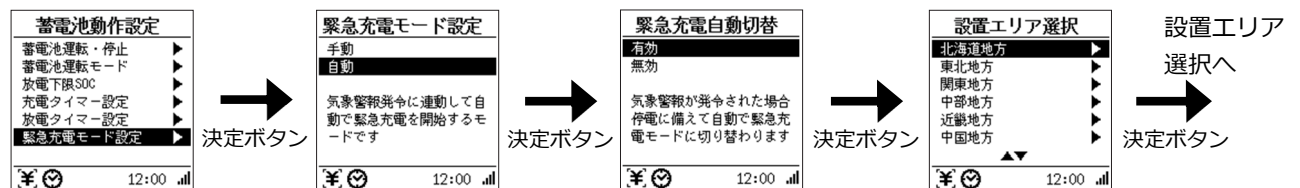
●設定方法

1 リモコンのメニューボタンに触れる

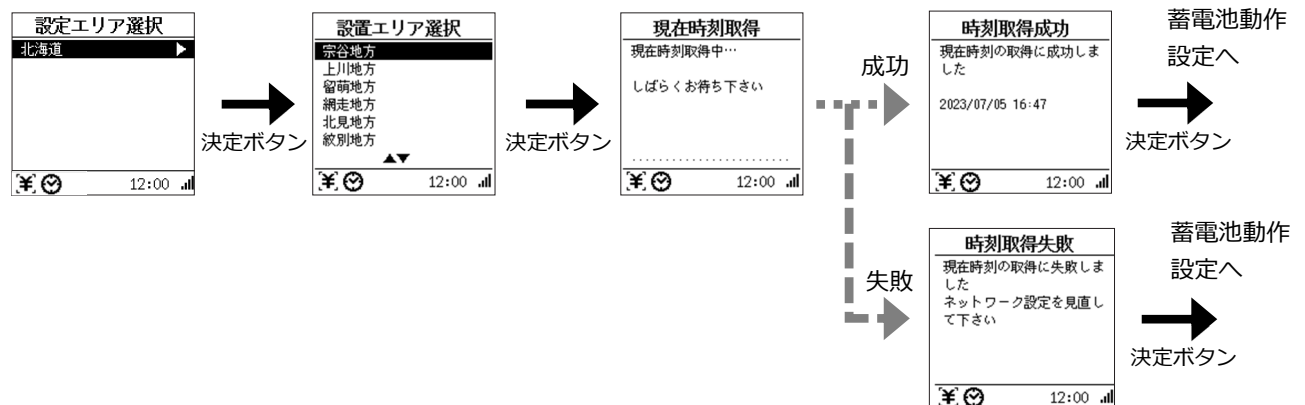


2 メニュー→蓄電池動作設定→緊急充電モード設定から、自動を選び決定ボタンに触れる

戻るボタンまたは左ボタンで画面を戻すことができます。



気象警報の発令で緊急充電モードを開始させる場合は、緊急充電自動切替を有効に、気象警報の発令で緊急充電モードを開始させない場合は、緊急充電自動切替を無効に設定して下さい。



時刻取得に失敗した場合、ネットワーク設定の見直した後、再度緊急充電モード自動切替を有効に設定して下さい。

緊急充電モード自動切替が有効設定で、対象の気象警報が発令された場合、N21 というコード表示と共にブザーを鳴らし通知します。

緊急充電モード自動開始



N21 の表記は、発報後 24 時間後に自動で消えます。

各種設定方法 つづき

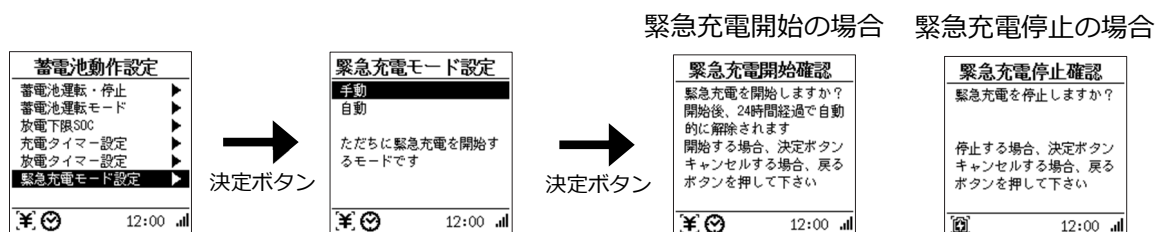
■ 緊急充電モード手動切替

1 リモコンのメニューボタンに触れる



2 メニュー→蓄電池動作設定→緊急充電モード設定から、手動を選び決定ボタンに触れる

戻るボタンまたは左ボタンで表示を戻すことができます。



緊急充電開始の場合は、「緊急充電開始確認」が表示され、決定ボタンに触れた場合のみ、動作を開始します。緊急充電停止の場合は、「緊急充電停止確認」が表示され、決定ボタンに触れた場合のみ、動作を停止します。戻るボタンでキャンセルすることができます。

● 緊急充電モード ショートカット

本手順は緊急充電モードへの簡単な設定変更方法となります。

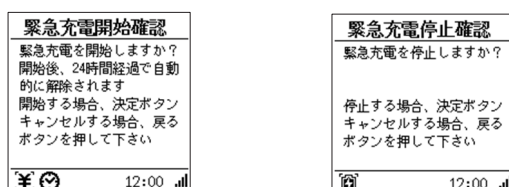
1 リモコンの（蓄電ボタン）を長押しする。（約 3 秒）



2 緊急充電開始の場合は、「緊急充電開始確認」が表示され、決定ボタンに触れた場合のみ、動作を開始します。

緊急充電停止の場合は、「緊急充電停止確認」が表示され、決定ボタンに触れた場合のみ、動作を停止します。戻るボタンでキャンセルすることができます。

緊急充電開始の場合 緊急充電停止の場合



■知っておいていただきたいこと

- ・緊急充電モード自動切替を使用するには、インターネットへの接続が必要になります。
- ・インターネット環境が悪い場合、緊急充電モード自動切替が正しく動作しない可能性があります。
- ・インターネットへの接続が不通になり気象警報を受け取ることができない場合は、気象状況をお客様でご確認いただき、手動で緊急充電を設定ください。(➡P.30)
- ・頻繁に緊急充電モードを使用すると蓄電池の寿命に影響する可能性があるため、必要時のみご使用ください。
- ・緊急充電モード自動切替を有効に設定している場合でも、手動切替によって緊急充電モードの開始・解除が可能です。(➡P.30)
- ・停電発生後に警報が発令された場合には、緊急充電モードへの自動切替は行われません。
- ・緊急充電モードは開始後 24 時間経過すると、自動で緊急充電モードが解除され、緊急充電前の運転モードに切り替わります。
- ・手動切替によって緊急充電モードを解除した場合、解除から 24 時間以内に警報が発令されていても、緊急充電モードへの自動切替は行われません。

各種設定方法 つづき

画面表示や操作音の設定を変える

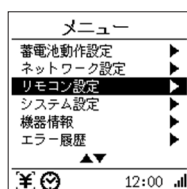
リモコン画面の点灯時間やコントラスト、操作音、時刻表示などを、お好みで調整できます。

工場出荷時	LCD点灯設定	: 1分
	LCDコントラスト	: Lv5
	ブザー音量設定	: 小
	キー操作音設定	: 有り
	時刻表示設定	: 24時間表示

1 リモコンのメニューボタンに触れる



2 メニュー→「リモコン設定」を選び、決定ボタンに触れる



3 上下ボタンで設定する項目を選ぶ

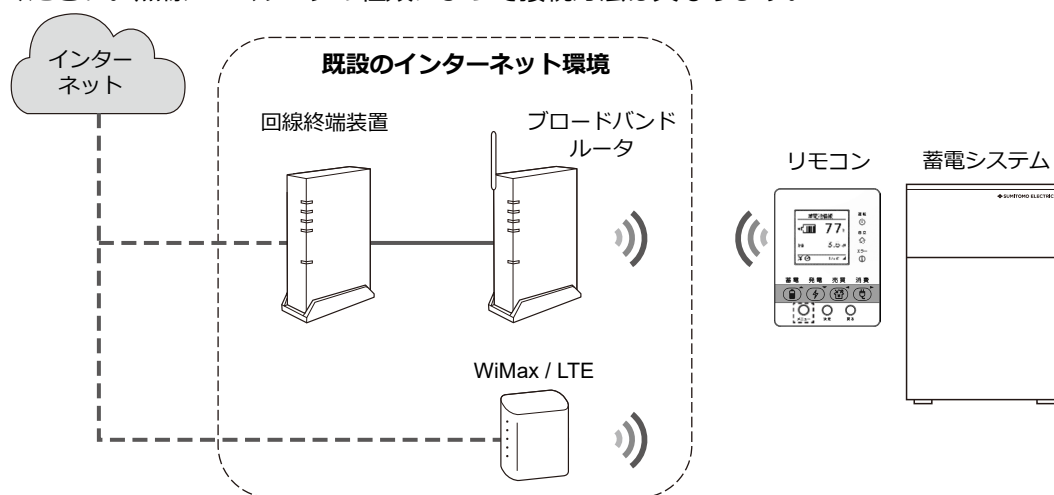
次の設定ができます。

LCD 点灯設定	リモコンを操作していない場合に、画面が消灯するまでの時間を「1分」「5分」「10分」の3つから設定できます。		
LCD コントラスト設定	リモコンの文字の濃淡を 10 段階で調整できます。「Lv0」(薄い) … 「Lv5」 … 「Lv9」(濃い)		
ブザー音量設定	ブザーの鳴動音量を「なし」「小」「中」「大」の4段階で設定できます。		
キー操作音設定	キー操作時のブザー鳴動を「あり」「なし」で設定できます。		
時刻表示設定	時刻表示を「24 時間表示」「am/pm 表示」で設定できます。		

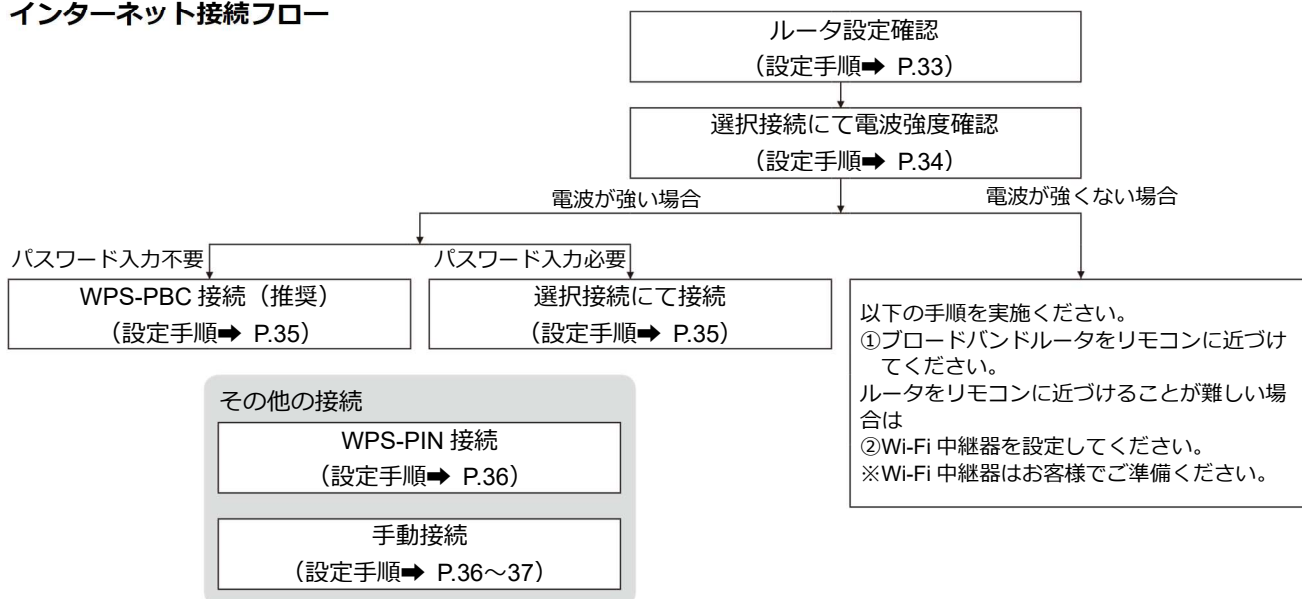
ネットワークの設定をする

見守りサービスをご利用いただくためには、インターネット接続を推奨しております。本手順は、ネットワーク設定が未設定、もしくはネットワーク設定を変更する場合に必要となります。既にインターネットに接続されている場合、「ネットワークの設定をする」の手順は不要です。

ご家庭の無線 LAN ルータ（IEEE802.11 b/g/n 2.4GHz）とリモコンを接続することで、本製品のネットワーク設定を行ってください。無線 LAN ルータの種類によって接続方法は異なります。



インターネット接続フロー

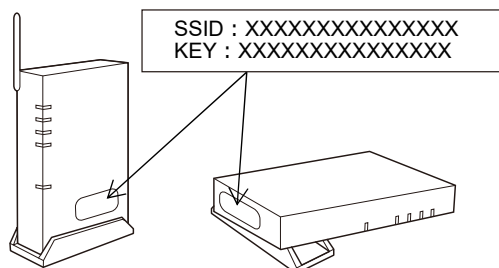


ルータ設定確認

SSIDの確認

セキュリティ設定の確認

※一般的な無線 LAN ルータの場合、初期設定値は以下イメージのように記載されていますが、詳細については無線 LAN ルータ付属の取扱説明書をご確認ください。



各種設定方法 つづき

接続する SSID の電波強度を確認する

1 リモコンのメニューボタンに触れる

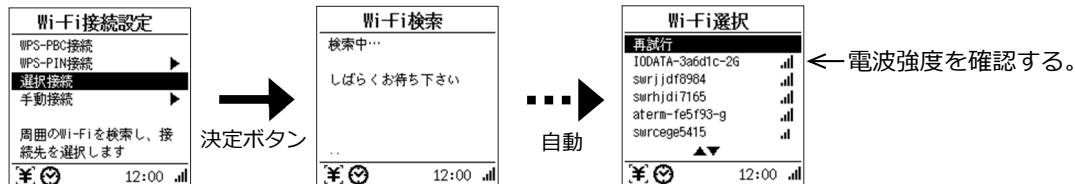


2 メニュー→ネットワーク設定→Wi-Fi 接続設定を選択する



3 選択接続にて電波強度を確認する

- ① Wi-Fi接続設定から「選択接続」を選び、決定ボタンに触れる
- ② 上下ボタンで接続するアクセスポイントの電波強度を確認する



※安定した通信を行う場合、電波強度 Lv2「.lll」以上を推奨します。

電波強度が不足している場合、ブロードバンドルータをリモコンに近づけてください。改善しない場合は Wi-Fi 中継機器の導入をご検討ください。

「WPS-PBC 接続」、「選択接続」、「WPS-PIN 接続」、「手動接続」による設定手順

接続方法は、「WPS-PBC 接続」（推奨）、「選択接続」、「WPS-PIN 接続」、「手動接続」から選ぶことができます。

※WPS は、Wi-Fi Protected Setup の略で、無線 LAN 端末と簡単に無線接続させるための機能です。

無線 LAN ルータに「WPS」「AOSS」「らくらく無線スタート」と表記されたボタンがある場合は、「WPS-PBC 接続」を選択し接続を試みてください。

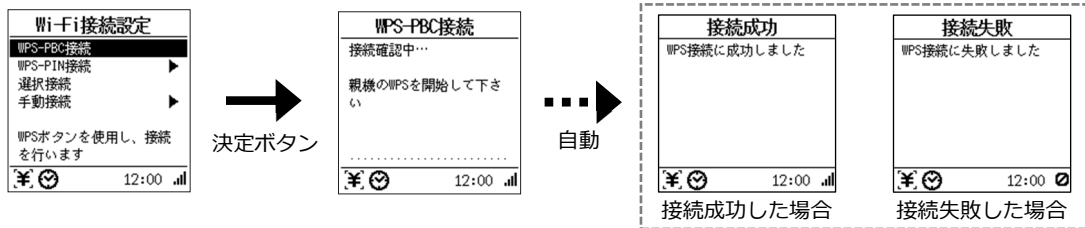
WPS-PBC接続（推奨）	WPSプッシュボタン方式を使用し、無線LANルータとの接続設定を自動的に行います。
選択接続	周囲のWi-Fiを検索し、接続先を選択して接続設定を行います。
WPS-PIN接続	WPS-PINコード方式を使用し、無線LANルータとの接続設定を自動的に行います。
手動接続	無線LANルータのSSID、接続するためのセキュリティ設定、パスワード、IP設定を行います。スマートフォン等を利用して接続する場合は、この方法で接続設定を行います。

設定の詳細は「「WPS-PBC 接続」、「選択接続」、「WPS-PIN 接続」、「手動接続」による設定手順」（➡ P.35～37）をご確認ください。

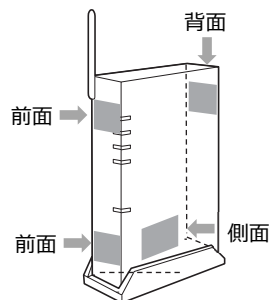
リモコンと無線 LAN ルータとの接続が完了すると、リモコン画面に .lll が表示されます。

●WPS-PBC を使用する場合（推奨）

Wi-Fi 接続設定から「WPS-PBC 接続」を選び、決定ボタンに触れ、接続する無線 LAN ルータと WPS 接続を開始する



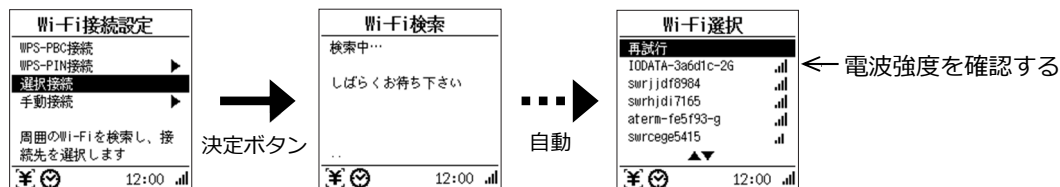
「接続確認中…」の画面が表示されている状態（約 2 分継続）で、無線 LAN ルータの WPS 開始操作を行ってください。WPS ボタンを長押しすることで開始するものが一般的ですが、詳細については無線 LAN ルータ付属の取扱説明書をご確認ください。



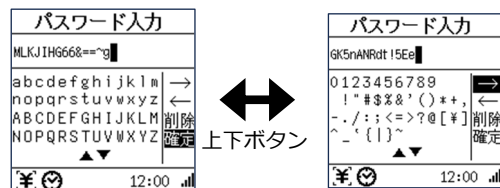
無線 LAN 機器にある WPS ボタン位置の例

●選択接続する場合

- ① Wi-Fi 接続設定から「選択接続」を選び、決定ボタンに触れる
- ② 上下ボタンで接続するアクセスポイントを選び、決定ボタンに触れる

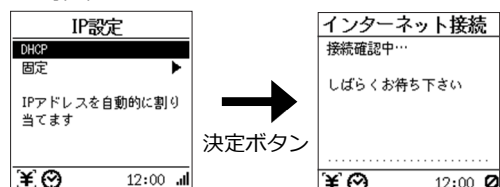


- ③ セキュリティ設定が必要なアクセスポイントを選択した場合、パスワード入力画面になるので無線 LAN ルータに記載のパスワードを入力し、「確定」にカーソルを合わせて決定ボタンに触れる



- ④ IP の設定を行う

※基本的には「DHCP」を選択してください。「固定」を選択して正しい設定が行われなかった場合、ネットワークの接続ができなくなる可能性があります。



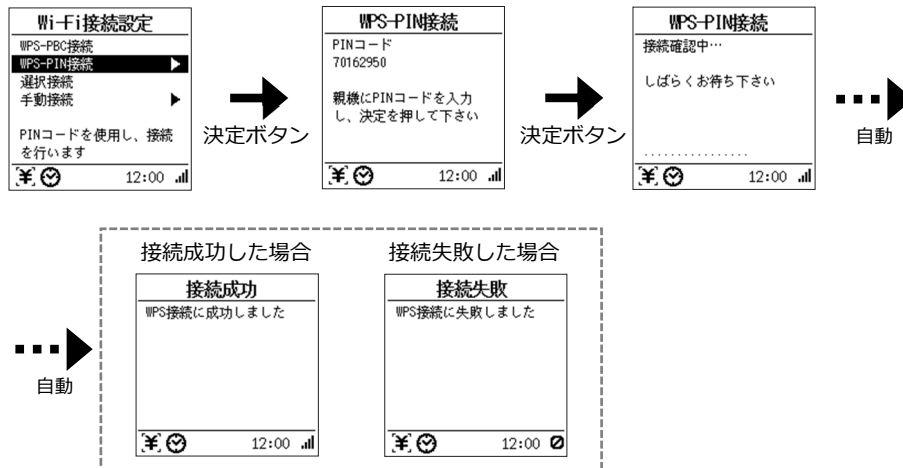
IP 設定が「固定」の場合は、「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」の設定を行ってください。



各種設定方法 つづき

●WPS-PIN を使用する場合

- ① Wi-Fi接続設定から「WPS-PIN接続」を選び、決定ボタンに触れる
- ② 表示された8桁のPINコードを無線LANルータに入力後、決定ボタンに触れ、WPS接続を開始する
※無線 LAN ルータ側の PIN コード入力方法は、お手持ちの無線 LAN ルータの取扱説明書をご確認ください。



●手動接続する場合

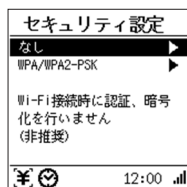
- ① Wi-Fi接続設定から「手動接続」を選び、決定ボタンに触れる



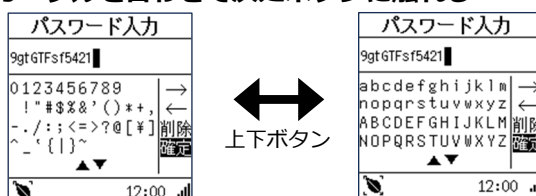
- ② 無線 LAN ルータの SSID を入力し、「確定」にカーソルを合わせて決定ボタンに触れる



- ③ セキュリティ設定は、「なし」または「WPA/WPA2-PSK」を選び、決定ボタンに触れる

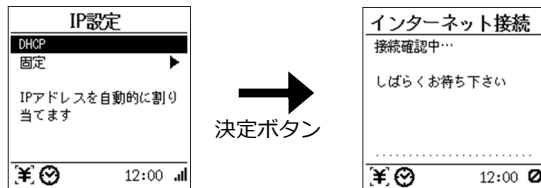


- ④ セキュリティ設定が WPA/WPA2-PSK の場合、無線 LAN ルータに記載のパスワードを入力し、「確定」にカーソルを合わせて決定ボタンに触れる



⑤ IP の設定を行う

※基本的には「DHCP」を選択してください。「固定」を選択して正しい設定が行われなかった場合、ネットワークの接続ができなくなる可能性があります。

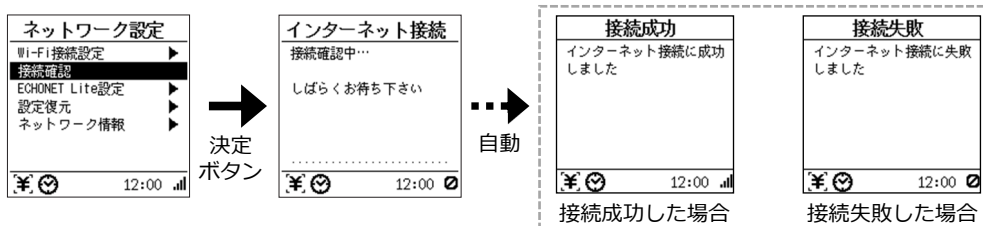


IP 設定が「固定」の場合は、「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」の設定を行ってください。



インターネットとの接続手順

- ① リモコンのメニューボタンに触れる
- ② メニュー→ネットワーク設定→接続確認を選び、決定ボタンに触れる



※接続の確認には数分程度の時間がかかる場合があります。

※Wi-Fi が正しく接続ができている場合は、リモコン表示画面右下 (⇒ P.7) の電波強度のアンテナが表示されます。また、ネットワーク情報 (⇒ P.39) のSSID、IP アドレスに接続情報が表示されます。



※接続に失敗した場合、「Wi-Fi に接続出来ない状態が継続しています」または「インターネットに接続出来ない状態が継続しています」のメッセージが表示されます。対処方法については「N02 Wi-Fi に接続出来ない状態が継続しています」または「N03 インターネットに接続出来ない状態が継続しています」(⇒ P.60) をご確認ください。

各種設定方法

つづき

●ネットワーク設定にあたってのお知らせ事項

ネットワーク設定に伴い、本製品の保守・品質改善を目的として、ネットワークを介して、蓄電システムの稼働状況などのデータを定期的に収集させていただく場合があります。この中にはお客様を特定できる個人情報は一切含まれません。収集・保管させていただくデータは製品の保守・品質改善の目的のみに使用し、保管先において適切に管理を行います。

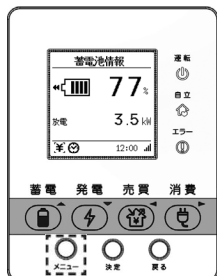
●ネットワーク設定にあたっての注意点

家庭内にある Wi-Fi ルータと接続してください。フリー Wi-Fi（公衆無線 LAN）と接続すると、セキュリティ上の危険性が高くなります。またインターネットから直接リモコンにアクセス可能な Wi-Fi ルータも、接続しない様にしてください。接続すると、セキュリティ上の危険性が高くなります。

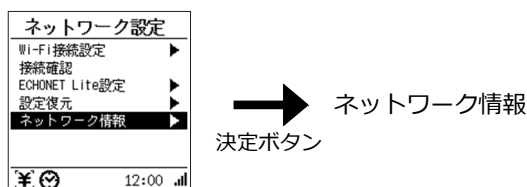
ネットワークの設定を確認する

ネットワークの接続や IP アドレスの設定、ネットワーク情報をご確認いただけます。

1 リモコンのメニューボタンに触れる

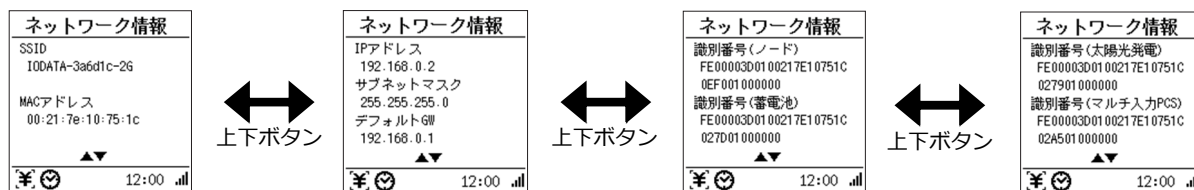


2 メニュー→ネットワーク設定→ネットワーク情報を選び、決定ボタンに触れる



3 上下ボタンで確認する情報を選ぶ

ネットワークの情報をご確認いただけます。



SSID	Wi-Fiにおける親機（アクセスポイント）の識別名です。接続先のルータのSSIDが表示されます。
MACアドレス	ネットワーク機器のハードウェアとしてのアドレスです。変更することはできません。
IPアドレス	ネットワーク上の機器を識別するためのアドレスです。
サブネットマスク	IPアドレスのうちネットワークアドレスとホストアドレスを識別するための数値です。
デフォルトゲートウェイ（GW）	内部のネットワークから、外部にあるネットワークに通信を行う場合の出入り口の役割を果たすように設定されたルータ等のアドレスです。
識別番号（ノード）※	ECHONET Liteのノードプロファイル（ECHONET Lite対応端末についての共通情報を管理するオブジェクト）を識別するためのIDです。
識別番号（蓄電池）※	ECHONET Liteの蓄電池クラス（ECHONET Lite対応端末についての蓄電池情報を管理するオブジェクト）を識別するためのIDです。
識別番号（太陽光発電）※	ECHONET Liteの太陽光発電（ECHONET Lite対応端末についての太陽光の情報を管理するオブジェクト）を識別するためのIDです。
識別番号（マルチ入力PCS）※	ECHONET LiteのPCS（ECHONET Lite対応端末についてのPCS情報を管理するオブジェクト）を識別するためのIDです。

※ECHONET Lite の設定が「設定・取得有効」または「取得のみ有効」に変更時に表示されます。

各種設定方法 つづき

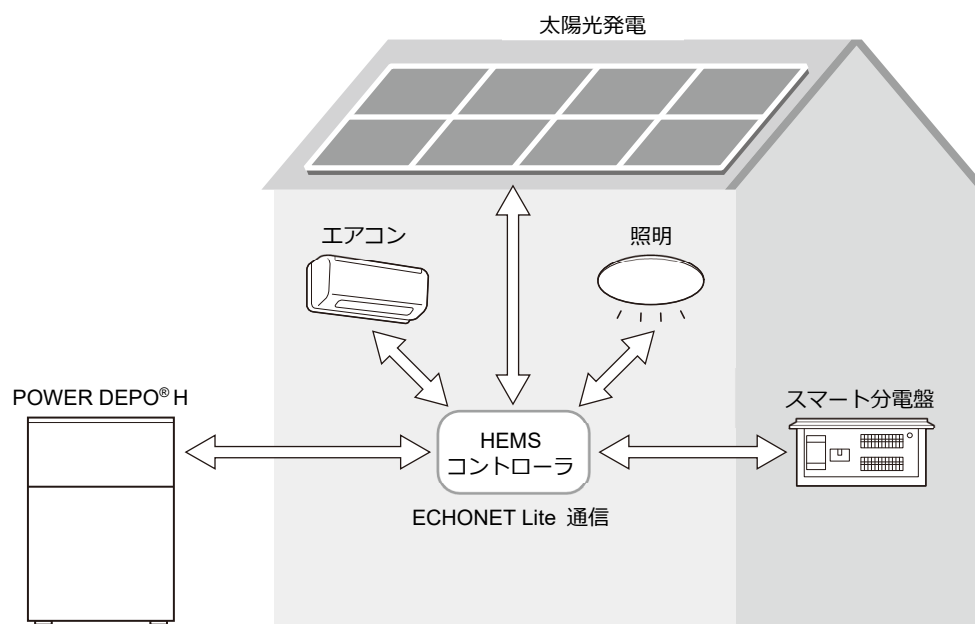
4 戻るボタンに触れて終了する



ECHONET Lite の接続を設定する

ECHONET Lite とは？

ECHONET Lite は、エコーネットコンソーシアムが策定した HEMS（Home Energy Management System）の通信規格です。異なるメーカーの家電を接続して、遠隔制御／モニタリングするための通信規格になります。本機能を使用することでスマートホームを実現することにつながります。



ECHONET Lite を使用するとどうなる？

ECHONET Lite に対応した HEMS と接続することで、電力の見える化や蓄電池の充電・放電制御を受け付けることができます。

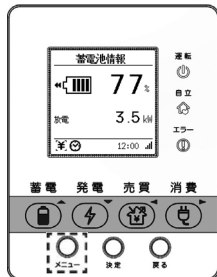
操作方法に関しては対応機器の取扱説明書をご確認ください。

【対応ECHONET Lite Ver】

ECHONET Lite Ver.1.14、Appendix Release R.2

ECHONET Lite の設定方法

① リモコンのメニューボタンに触れる



② メニュー→ネットワーク設定→ECHONET Lite 設定を選び、決定ボタンに触れ、「無効」、「取得のみ有効」、「設定・取得有効」を設定する

有効にすることで ECHONET Lite 対応のコントローラと接続が可能です。



設定値に関して

設定値	設定内容
無効	ECHONET Liteを無効にします。
取得のみ有効	電力の見える化の機能のみ使用する場合に有効にします。
設定・取得有効	電力の見える化、充電・放電制御をする場合に機能を有効にします。また太陽光発電での設定（発電制御等）する場合も有効にしてください。

日時を設定する

現在の日時は、自動または手動で現在時刻を設定できます。
手動を選択した場合、20YY/MM/DD hh:mmの形式で時刻入力を行えます。
設定可能範囲は2020/01/01 00:00～2050/12/31 23:59です。

1 リモコンのメニューボタンに触れる

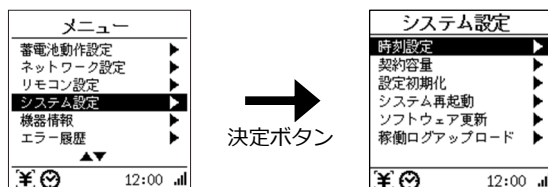


各種設定方法 つづき

2 メニュー→システム設定→時刻設定を選び、決定ボタンに触れる

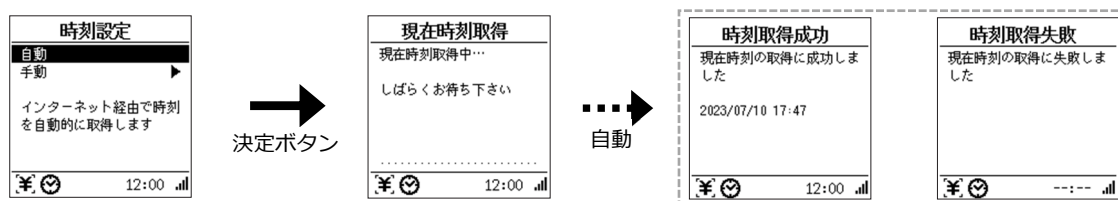
設定の方法は、「自動」または「手動」を選択します。

- ・上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。
戻るボタンまたは左ボタンで表示を戻すことができます。



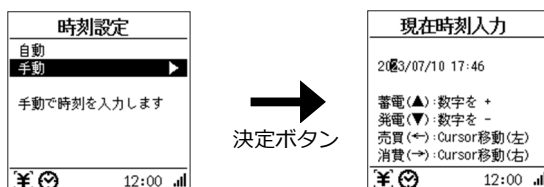
●自動を選択した場合

インターネット経由で現在時刻情報を取得します。



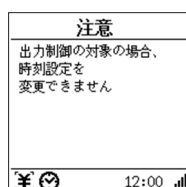
●手動を選択した場合

現在の時刻を手動で入力します。



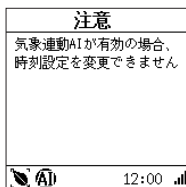
●出力制御されている場合

時刻設定をお客様自身で変更頂くことが出来ません。



●気象連動AIが有効に設定されている場合

天気予報を正確に反映するため、時刻設定は「自動」に設定されます。お客様自身で変更いただくことが出来ません。



- 手動を選択して時刻設定を行った場合、長年使用されると進みや遅れが生じることがあります。定期的に修正することをおすすめします。現在時刻に進みや遅れが生じると、割高な電気料金で充電を行ってしまう等の問題が発生してしまいます。

契約容量を変更する

ご家庭では、電力会社との契約において、同時に使用できる電気の最大容量として契約容量と呼ばれる値が定められており、POWER DEPO® Hの使用開始時にご契約の契約容量と一致するよう、リモコンにて契約容量を設定しています。設定した契約容量が一般負荷の消費電力より小さい場合、メニュー画面から設定を変更することができます。

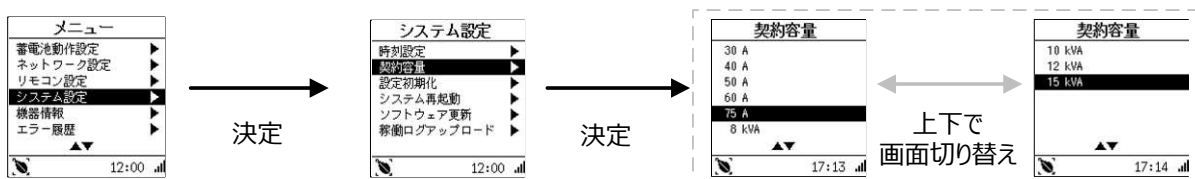
変更する際は、必ずご契約の電力会社へ契約容量のご確認をお願いします。ご契約されている電力会社や、契約容量の値に関して、当社では判断をいたしかねますのでご了承をお願いいたします。

1 室内リモコンのメニューボタンに触れる



2 メニュー→システム設定→契約容量を選び、変更したい契約容量を選択し決定ボタンに触れる

* 上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。



※蓄電システムの運転中は変更できないため、運転停止してから契約容量の変更をお願いします。変更後、必ず運転開始をしてください。

※契約ブレーカの容量を超えないようにご注意ください。

※誤って契約ブレーカの容量未満まで契約容量を減らした場合、蓄電池への充電電力が制限される可能性があるため、ご注意ください。

各種設定方法 つづき

ソフトウェアを更新する

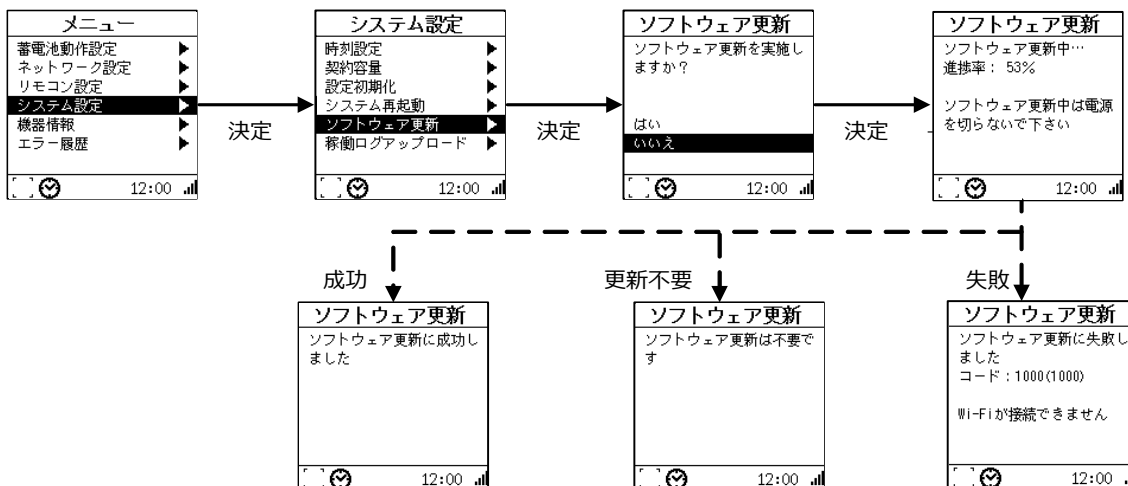
メニューから蓄電システムのソフトウェアを更新できます。

1 室内リモコンのメニューボタンに触れる



2 メニュー→システム設定→ソフトウェア更新を選び、「はい」にカーソルを合わせ、決定ボタンに触れる

- ・「いいえ」を選択すると、ソフトウェア更新をキャンセルして一つ前の画面へ遷移します。
- ・インターネットへ接続されている場合、ソフトウェアは自動的に更新されます。



※ソフトウェアの更新には、数十分程度の時間がかかる場合があります。

※更新に成功した場合、リモコンが再起動される場合があります。この場合、「ソフトウェア更新に成功しました」というメッセージは表示されませんが、異常ではありません。

※ソフトウェアが最新である場合、「ソフトウェア更新は不要です」というメッセージが表示されます。

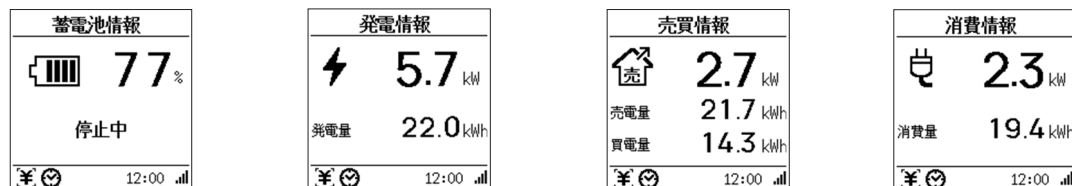
※更新に失敗した場合、以下いずれかのメッセージが表示されます。

- ・「Wi-Fiが接続できません」
→N02(⇒ P.60)の内容および処置を参考にWi-Fiの接続を確認してください。
- ・「インターネット接続に失敗しました」
→N03(⇒ P.60)の内容および処置を参考にインターネットの接続を確認してください。
- ・「販売店へご連絡ください」
→しばらく時間をあけてからリトライしてください。
それでも問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。

設定を初期化する

システムの設定を初期化できます。設定値が無くなるため、実行する場合は元の設定を控えておくようにしてください。

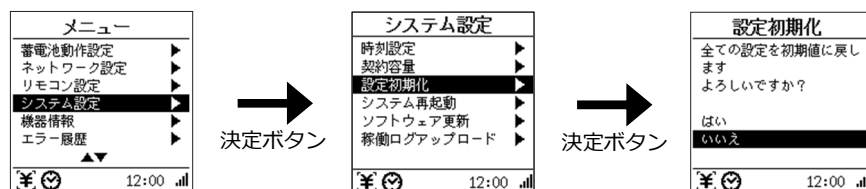
1 ホーム画面（蓄電池情報、発電情報、売買情報、消費情報）で、メニューボタンに触れる



2 メニュー→システム設定→設定初期化を選び、「はい」を選ぶ

「いいえ」を選ぶと初期化をキャンセルして終了します。

- ・上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。
戻るボタンまたは左ボタンで表示を戻すことができます。



3 初期化が始まります

下記項目が初期化されます。

蓄電池設定	初期化後の値（初期値）
運転・停止状態	停止
蓄電池運転モード	グリーンモード ※契約設定により初期値が異なります。 ダブルの場合：売電モード 電池のみの場合：通常モード
緊急充電モード 自動・手動	無効（自動・手動）
放電下限SOC	30%
充電タイマー情報（グリーンモード時）	無効／23:00～6:59 有効／気象連動AI 充電上限SOC／40%
充電タイマー情報（売電モード時）	有効／23:00～6:59
放電タイマー情報（売電モード時）	無効／7:00～22:59
設置エリア	未設定
リモコン設定	初期化後の値（初期値）
LCD点灯設定	1分
LCDコントラスト	Lv5
ブザー音量設定	小
キー操作音量設定	有り
時刻表示設定	24時間表示
ECHONET Lite情報	初期化後の値（初期値）
Wi-Fi接続設定	未設定
ECHONET Lite設定	取得のみ有効

※電力量情報は初期化されません。

各種設定方法 つづき

■ 気象連動 AI の学習結果を初期化する

- 1 ホーム画面（蓄電池情報、発電情報、売買情報、消費情報）で、メニューボタンに触れる

蓄電池情報	
 78%	
停止中	
 	12:00 

発電情報	
 5.9 kW	
発電量	13.3 kWh
 	12:00 

売買情報	
 2.5 kW	
売電量	10.7 kWh
買電量	10.2 kWh
 	12:00 

消費情報	
 2.8 kW	
消費量	17.0 kWh
 	12:00 

- 2 メニュー→蓄電池動作設定→気象連動 AI 設定→学習初期化を選び、「はい」を選ぶ

「いいえ」を選ぶと初期化をキャンセルして終了します。

- ・ 上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。
戻るボタンまたは左ボタンで表示を戻すことができます。

メニュー	
蓄電池動作設定 ▶	
ネットワーク設定 ▶	
リモコン設定 ▶	
システム設定 ▶	
機器情報 ▶	
エラー履歴 ▶	
▲▼	
 	12:00 

決定
ボタン

蓄電池動作設定	
蓄電池運転・停止 ▶	
蓄電池運転モード ▶	
放電下限SOC ▶	
充電タイマー設定 ▶	
緊急充電モード設定 ▶	
気象連動AI設定 ▶	
 	12:00 

決定
ボタン

気象連動AI設定	
設置エリア選択 ▶	
学習初期化 ▶	
 	12:00 

決定
ボタン

学習初期化	
気象連動AIで蓄積した学習データを初期化しますよろしいですか？	
はい	
いいえ	
 	12:00 

- 3 初期化が始まります

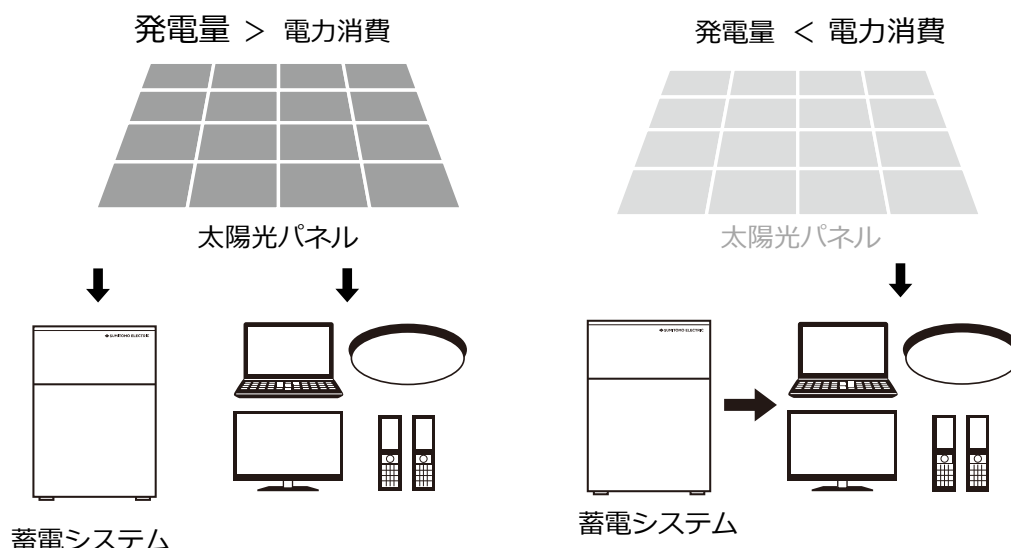
気象連動 AI の学習結果が初期化されます。設定は初期化されません。

停電になったときは

停電が発生した場合

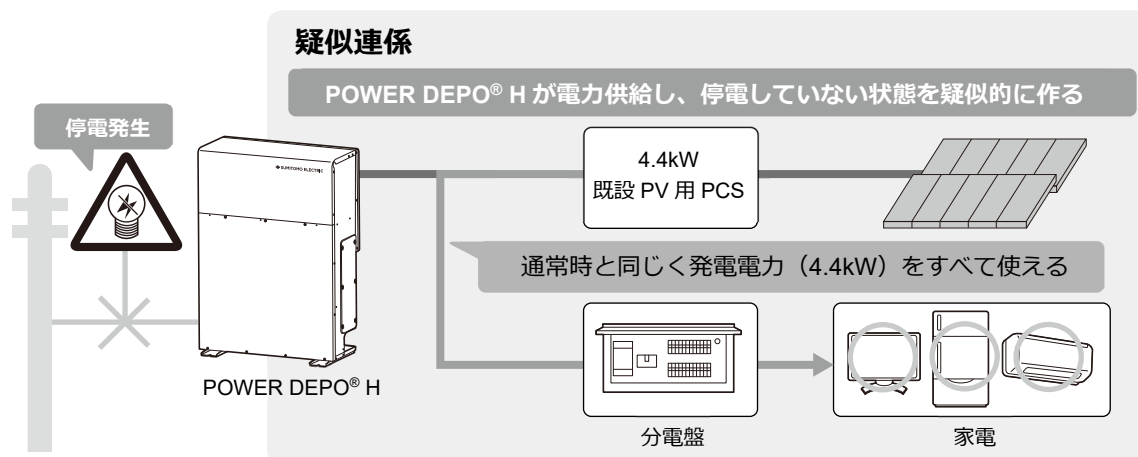
停電時は蓄電システムが停電を検知して自立運転に切り替わるため、操作なしで、電気機器、通信機器などを使用できます。また、コンセント式でない照明器具なども使用可能です。

- 太陽光パネルの発電電力に余剰電力がある場合、電気製品に電力供給し、蓄電池を充電します。電気製品の電力消費が太陽光パネルの発電電力より大きい場合、足りない電力を蓄電システムから供給します。



- 停電時でも蓄電システムに併設した太陽光パワーコンディショナおよびエネファームを停電していない時と※1同様に運転することができる疑似連系機能を搭載しています。

※1 疑似連系機能は弊社指定の太陽光パワーコンディショナおよびエネファームのみ使用することができます。販売会社又は施工業者にご確認ください。



※既設の太陽光（PV）用 PCS が 2 台の場合でも疑似連系可能です。

※疑似連系可能な PCS は接続検証リストに追記された機器のみになります。

※停電動作中の低温時に、蓄電池保護のため充電抑制し、PCS の発電が停止する可能性があります。

- 「単機能タイプ」かつ「疑似連系機能」が無効な場合、停電時に太陽光発電を充電できないため、電池残量を考慮したうえでご使用ください。

※疑似連系機能の有効・無効の確認については、P.55 の手順を参照してください。

疑似連系の有効・無効設定に関しては、本製品を設置した施工業者に問い合わせください。

停電になったときは つづき

停電時の家電製品の利用について

電気の使い過ぎや使用中の家電製品の特性により、定格を超える電力が使用されると、内部の安全装置が作動し、リモコンにメッセージを表示して、給電を停止します。

安全装置が作動した場合は、リモコンのメッセージにしたがって、接続している家電製品の数を減らしてください。（「E」の点検コードの内容と処置のしかた」➡ P.56～60）

消費電力が大きい家電製品を利用する際には、動作させる前に、他の接続している家電製品を減らすなど、工夫してください。

■ 下記の家電製品を最大 27 時間利用可能※です

接続家電製品例

- | | | |
|--------------------------|--------------------|------------|
| ・冷蔵庫：120 W | ・ノートパソコン、ルータ等：30 W | |
| ・液晶テレビ：170 W | ・携帯電話充電（2 台）：10 W | |
| ・リビング用 LED シーリング照明：100 W | | 合計：約 430 W |

※おおよその目安です。実際のご使用では、蓄電池の充電量、太陽光パネルの発電電力、その他の条件で変わります。

■ 以下の電気機器を使用する場合のご注意

● 全ての医療機器、防犯機器、デスクトップパソコンなどの家電およびその周辺電気機器

→本製品は無停電電源装置ではないため、数十秒電気が止まる可能性があります。その際にデータの消失や電気機器が動作しない場合があるため、もし上記製品をご利用される場合は蓄電システムと電気機器の間に無停電電源装置（UPS）をご利用ください。

● 灯油やガスを用いた暖房機器、および停電から復旧したときに、自動的に運転を開始する電熱機器

→本製品は自動で復電するため、上記の電気機器は地震等で転倒した場合に火災などの 2 次災害につながるおそれがあります。もし利用される場合は転倒防止等の 2 次災害対策をした上でご利用ください。

● 突入電流が大きな家電製品

停電運転時に、突入電流が大きな家電製品を接続すると、その製品の起動時に瞬間的に大電流が流れ、電圧が大きく低下し、接続されている他の家電製品が停止する場合があります。

突入電流が大きい家電製品	動作しない場合がある	エアコン、掃除機、洗濯機、乾燥機、温水洗浄便座、井戸水ポンプなど
--------------	------------	----------------------------------

→停止後、再起動しますので、もし、安全装置が作動してしまった場合は、リモコンのメッセージにしたがって、接続している家電製品の数を減らしてください。（「エラーの対応方法」➡ P.56～60）

● その他、電源が切れると生命や財産に損害を受けるおそれのある製品

→生命や財産に損害を受ける可能性があるため、電源が切れた場合のリスクを考慮した上でご利用ください。

■ 復電時の操作

● 停電後、電池の残量がなくなる前に復電した場合、蓄電システムは特別な操作は必要ありません。

● 停電後、停電中に電池の残量がなくなった後に復電した場合、蓄電システムの動作がエラーにより停止している可能性があります。「停電時に蓄電池残量がなくなってしまった場合」（P.52）をご参照いただき、蓄電システムの復旧操作を実施してください。

● 復電後は系統からの電力供給に自動で切り替えますが、電力会社との協議で定められた時間内(約 5 分)は、蓄電池からの電力供給は行いません。復電後電力会社との協議で定められた時間を経過すると、蓄電システムは停電前のモードで動作します。

● 復電した際に、通常の電力供給に切り替わる際に一時的（数秒程度）に停電します。自動で復電するため、ご安心ください。

こんなときは

ご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、以下の内容をご確認ください。

項目	こんなときは（症状）	参考ページ
リモコンに関して	リモコンのブザーが鳴った場合	P.49
	リモコン画面のエラーアイコンが点灯している場合	P.50
	リモコン画面が表示されない場合	P.50
	リモコンの操作が動かない場合	P.50
	C の点検コード通知があった際の消し方	P.50
蓄電システム本体に関して	本体から発火が発生した場合	P.51
	本体から煙が発生、もしくは変なにおいがした場合	P.51
	災害により本体が転倒、もしくは本体が水没した場合	P.51
	蓄電システム本体から発生する音が気になる場合	P.51
	電池残量設定（放電下限 SOC）以上で放電が停止する場合	P.51
	予期していない充電動作をしている場合	P.51
停電に関して	停電が発生した場合	P.51
	停電時に蓄電池残量がなくなってしまった場合	P.52
	停電運転中に蓄電池の容量が残っているにもかかわらず、自立運転が停止した場合	P.52
	停電時に電気が供給されない場合	P.52
	周囲の家屋の電気が点灯しているにもかかわらず、自家で停電が発生した場合	P.52 ～53
その他	契約ブレーカの容量を変更する場合	P.54
	契約ブレーカが頻繁に作動する場合	P.54
	漏電遮断器が作動する場合	P.54
	背面カバー下部の吸気口が目詰まりをした場合	P.54
	ネットワーク接続状態が未接続になっていた場合	P.54
	リモコンを廃棄する場合	P.54
	コールセンターに問い合わせたときにシステム情報を確認する場合	P.55

リモコンに関して

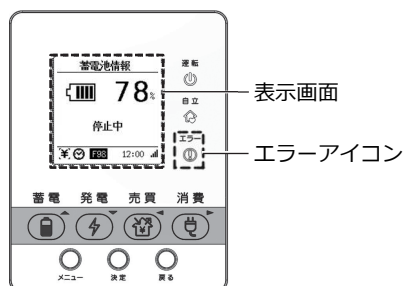
リモコンのブザーが鳴った場合

ブザーが鳴ったときは、リモコンの画面に緊急充電モード自動切替開始、またはエラーのメッセージが表示します。

【リモコンからの通知方法】

- リモコンからエラー音がなります。（「エラーの対応方法」➡ P.56～60 のエラー音を参照ください）
- リモコンのエラーアイコンが赤色に点灯します。
- ホーム画面にエラーコードが出ます。（「エラー表示に関して」➡ P.56～60）

表示について



こんなときは つづき

リモコン画面のエラーアイコンが点灯している場合

メッセージの内容にしたがって、対処してください。（「エラー表示に関して」➡ P.56～60）

リモコン画面が表示されない場合

通常時（配電系統から電力が供給されている）、停電状態によって状況が変わります。

状況に応じた対応方法をご確認ください。

●通常時（配電系統から電力が供給されている）

リモコン操作ボタンに触れてもリモコン画面が表示されない場合は、本体の保護でシステムがシャットダウン、またはリモコンが故障している可能性があります。お買い上げの販売会社へご連絡ください。

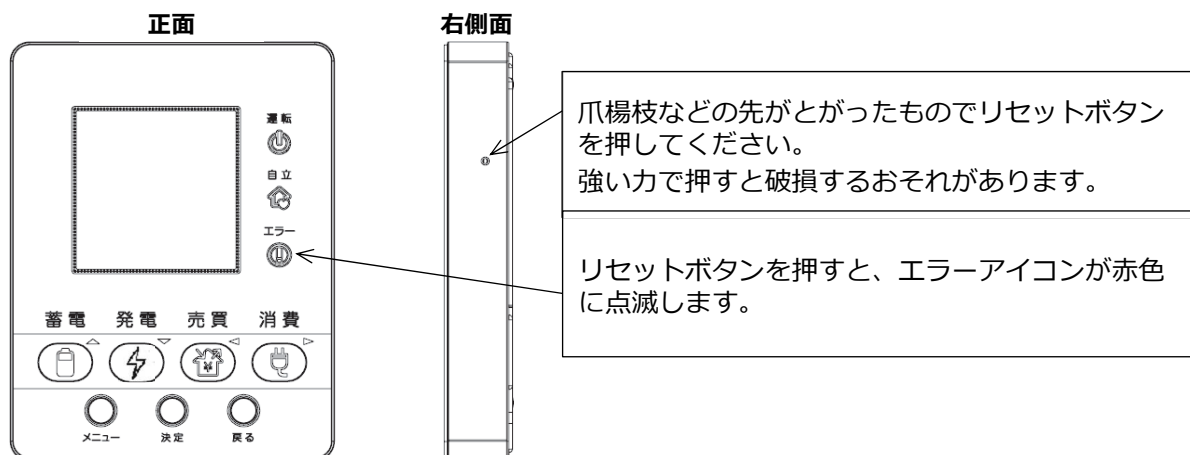
●停電状態

リモコン画面が表示されない場合は、電池残量が無くなっている可能性が高いため、太陽光発電が開始されるまでお待ちください。太陽光発電開始後も、リモコン表示が改善されない場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

リモコンの操作が動かない場合

リセットボタンを押してください。エラーアイコンが赤色に点滅し、蓄電システムが再起動して復帰します。再起動には数秒かかります。

※本操作でも復帰しない場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

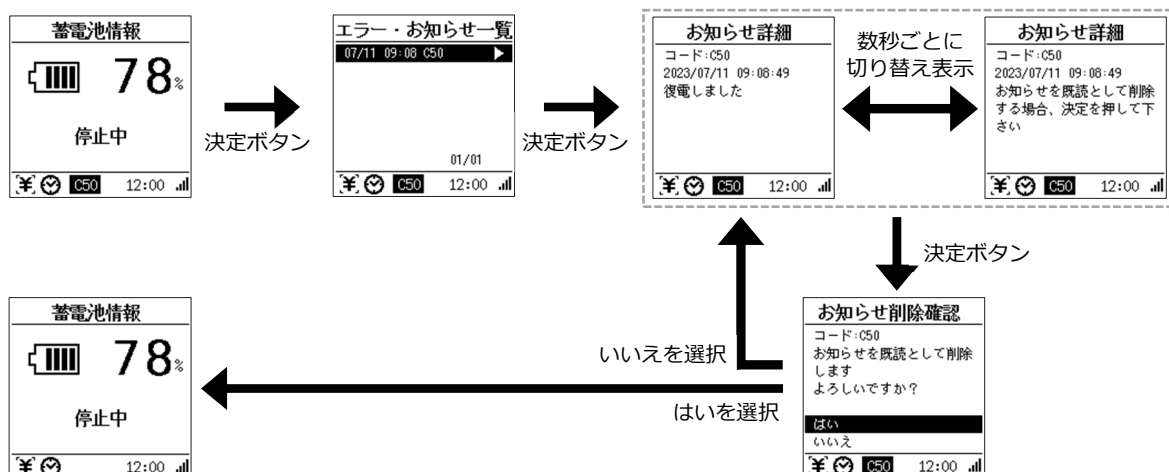


C の点検コード通知があった際の消し方

※本点検コードはお知らせになります。

以下手順にて既読として削除することができます。

例) 「C50」を解除



蓄電システム本体に関して

本体から発火が発生した場合

至急消防署に連絡・状況を伝えた上で、消防署の指示に従ってください。

個人の判断で蓄電システム本体には近づかないようにしてください。

※発火している場合、絶対に蓄電システム本体に水をかけないでください。発火が激しくなる可能性があります。

本体から煙が発生、もしくは変なにおいがした場合

蓄電システムの運転を停止（「通常運転・停止」⇒ P.13～14）、手動切替開閉器を変更（「周囲の家屋が、電気が点灯しているにも関わらず、自家で停電が発生した場合」⇒ P.52）してください。その後、お買い上げの販売会社またはコールセンター（⇒ 裏表紙）へご連絡ください。

災害により本体が転倒、もしくは本体が水没した場合

安全を確保した上で、蓄電システムの運転を停止（「通常運転・停止」⇒ P.13～14）してください。

感電のおそれがあるため、絶対に本体には近づかないでください。

蓄電システム本体から発生する音が気になる場合

ファン、製品内部の回路が動作する際に音が発生する場合がありますが、異常ではありません。

異音を感じた場合、蓄電システムの運転を停止し、お買い上げの販売会社またはコールセンター（⇒ 裏表紙）へご連絡ください。

電池残量設定（放電下限 SOC）以上で放電が停止する場合

蓄電池の特性上、低温時は蓄電池保護のため充放電を停止する場合がありますが、故障ではありません。

対象温度（-20℃）よりも高い温度になることで自動的に解消されます。

万が一、-20℃より高い温度にも関わらず、動作しない場合は故障の可能性もあります。販売会社またはコールセンター（⇒ 裏表紙）へご連絡ください。

予期していない充電動作をしている場合

①蓄電池の保護のため、あるいは②放電下限 SOC から低下してご使用方法に不都合がないように、電気のご使用量等に関係なく強制的に充電動作をする場合があります。

①の場合、リモコンの蓄電池情報の表示画面にて「強制充電」というメッセージが表示されている場合、故障ではありませんのでご安心ください。

②の場合、蓄電池情報の表示画面にて蓄電池残量が放電下限 SOC を下回っている場合、故障ではありませんのでご安心ください。

蓄電池情報の表示画面は「蓄電池・太陽光発電の情報を確認する」（⇒ P.16）の蓄電池情報の表示を確認してください。

停電に関して

停電が発生した場合

「停電になったときは」（⇒ P.47～48）を参照してください。

※「単機能タイプ」で設置しており、「疑似連系機能」が無効の場合、配電系統から電力が供給されるまで充電は開始されません。

※疑似連系機能の有効・無効の確認については、P.55 の手順を参照してください。

単機能モードでは、停電時に蓄電池残量が 1%に達すると低消費電力モードになり、エラー（C39）が表示されます。

低消費電力モードでは分電盤でブレーカをオフするなどしてできるだけ多くの家電をオフして電力消費を減らしてください。

スマートフォン・携帯の充電はできる可能性があります。

低消費電力モード中に消費電力が大きい、もしくは残量がすべてなくなった場合は停電します。

配電系統が復電、もしくは太陽光発電の余剰電力が充電されることで、電池残量が回復すると自動的に通常運転に切り替わります。

こんなときは つづき

停電時に蓄電池残量がなくなってしまった場合

停電時に蓄電池残量がなくなってしまった場合には、自立運転が停止し、電力供給がなくなります。この時、蓄電池を保護するためシステムがエラーにより停止する場合があります。エラーにより停止した場合は、太陽光発電、もしくは配電系統から電力が供給されても、蓄電システムの動作は自動で開始されないため、エラーの解除を実施してください。（「点検コードを解除する」➡ P.60）

※停止した状態が続くと本体保護でシステムがシャットダウンします。システムシャットダウン後、太陽光発電、もしくは配電系統から電力が供給された場合はシステムが起動しますが、運転開始操作が必要となるため、運転開始操作を行ってください。（「運転を開始する」➡ P.13）

システムシャットダウン後、太陽光発電、もしくは配電系統から電力が供給されても復旧しない場合は、お買い上げの販売会社またはコールセンター（➡裏表紙）へご連絡ください。

停電運転中に蓄電池の容量が残っているにもかかわらず自立運転が停止した場合

蓄電池の容量が残っているにもかかわらず電力が停止した場合、以下の可能性があります。

- 蓄電システム内で保護機能が動作した、または、蓄電システムの故障
リモコン表示にてエラー等が発生していないかご確認ください。〔エラーの対応方法〕➡ P.56～60)
- 使用する負荷(家電)が大きいため電力供給を停止
電気の使い過ぎや使用中の家電製品の特性により、蓄電システム本体の定格を超える電力が使用されると、内部の安全装置が作動し、リモコンにメッセージを表示して、給電を停止します。
〔エラーの対応方法〕➡ P.56～60)
→ 安全装置が作動してしまった場合、リモコンのメッセージにしたがって、接続している家電製品の数を減らしてください。使用電力が減らないと停止と再起動を繰り返す可能性があります。

停電時に電気が供給されない場合

停電時は蓄電システムが停電を検知するため、自動で電気が供給されます。

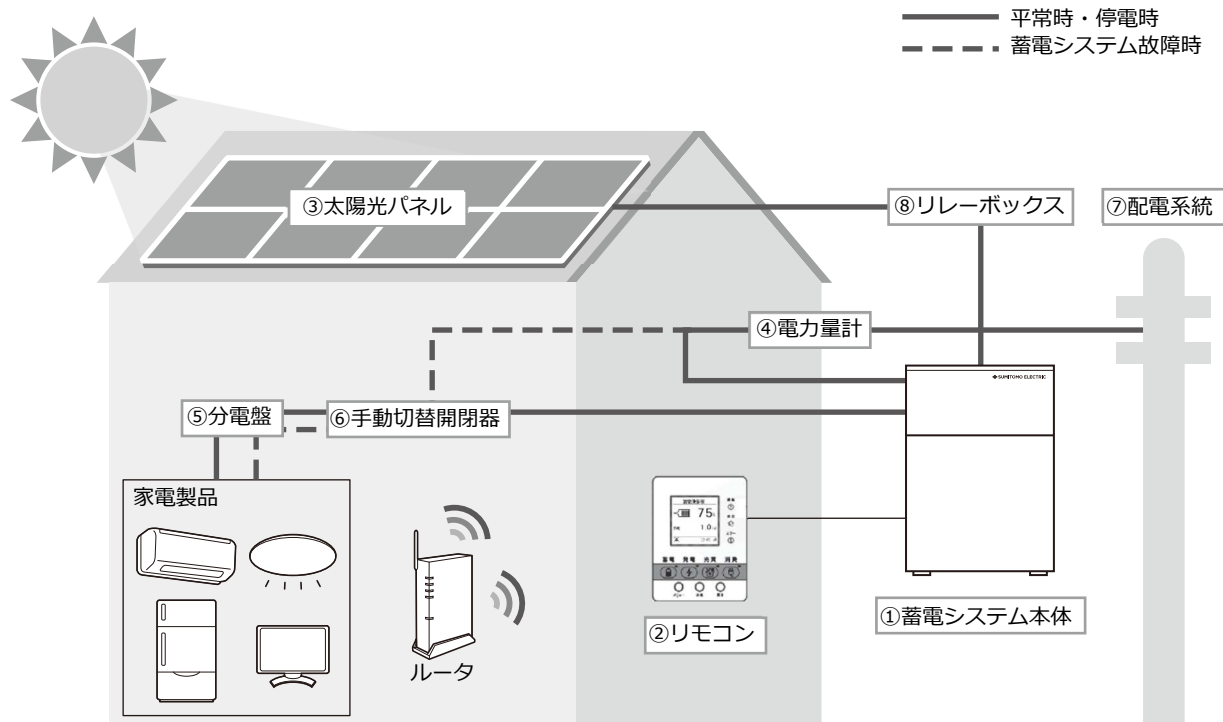
電気が供給されない原因としては、蓄電池の故障や、電池残量が無くなった可能性があります。

リモコン表示にてエラー等が発生していないかご確認ください。（「エラーの対応方法」➡ P.56～60）

周囲の家屋の電気が点灯しているにもかかわらず、自家で停電が発生した場合

蓄電システムを設置した場合、配電系統の電気は蓄電システムを経由して電力を供給しているため、蓄電システムが故障すると、停電が発生する可能性があります。万が一、周囲の家屋の電気が点灯しているにもかかわらず、自家のみ停電が起きた際は、手動切替開閉器を使用することで配電系統からの電力供給を復旧させることができます。

本手順は一時対応策になるため、手順実施後、必ずお買い上げの販売会社またはコールセンター（➡ 裏表紙）へご連絡ください。



【故障時のフロー】

① 手動切替開閉器の変更（蓄電システムが故障した場合）



② 蓄電システムの停止（リモコン操作）と販売店への連絡 ➡ P.13～14

【復旧時のフロー】

③ 蓄電システムの開始（リモコン操作） ➡ P.13～14



④ 切替開閉器の変更（蓄電システムの故障が直った場合）

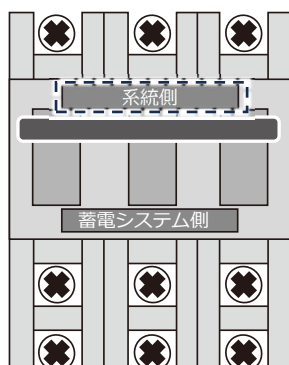
【故障時の手順】

① 手動切替開閉器の変更（蓄電システムが故障した場合）

手動切替開閉器のスイッチを「系統側」にしてください。

「系統側」にすることで、電気の流れが蓄電システムを経由しないため、配電系統の電気が流れている場合、電力が復旧します。

※本対応は暫定処置のため、対処した際は、必ずお買い上げの販売会社またはコールセンター（➡ 裏表紙）へご連絡ください。



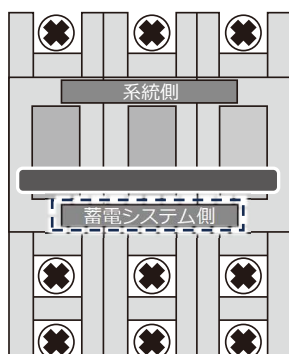
② 安全のため、リモコンにて蓄電システム本体を停止してください。（「通常運転・停止」 ➡ P.13～14）

【復旧時の手順】

③ リモコンにて蓄電システム本体の運転を開始してください。（「通常運転・停止」 ➡ P.13～14）

④ 手動切替開閉器の変更（蓄電システムの故障が直った場合）

手動切替開閉器のスイッチを、「蓄電システム側」にしてください。



※手動切替開閉器の操作は蓄電システムの故障時以外、実施しないでください。

その他

契約ブレーカの容量を変更する場合

契約ブレーカの容量を変更する場合は、契約している電力会社にご連絡ください。

契約ブレーカが頻繁に作動する場合

75A までの契約ブレーカが設置されているご家庭で、契約ブレーカが頻繁に落ちる場合は、契約ブレーカの容量変更が必要な場合がありますので、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

漏電遮断器が作動する場合

漏電遮断器が作動する場合、漏電が発生しており、感電の可能性があります。電気工事店もしくは電気保安協会へご連絡ください。

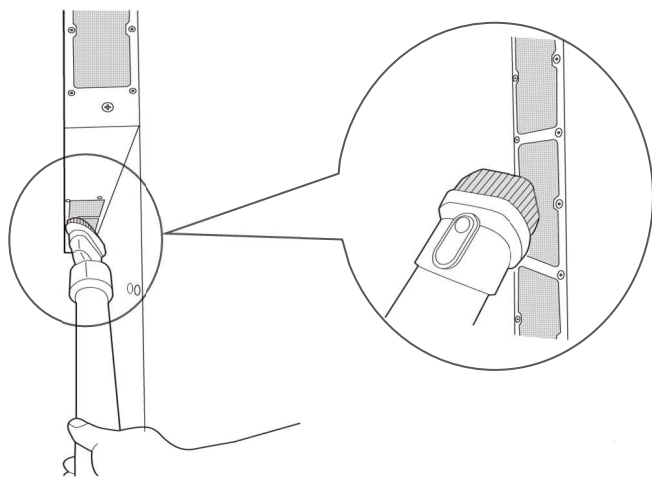
背面カバー下部の吸気口が目詰まりをした場合（「蓄電システム本体各部名称」➡ P.5）

大きいごみは手で取って、メッシュ部分はブラシ付き掃除機で吸ってください。

掃除する際は、蓄電システムの運転を停止（「通常運転・停止」➡ P.13～14）をしてください。

※停止直後は、蓄電システム本体が熱を帯びている可能性があるため、停止後、数時間経過した後に掃除を実施してください。

（参考イメージ）



ネットワーク接続状態が未接続になっていた場合

本製品は、インターネットにアクセスし、最新のソフトウェアを自動的にダウンロードして更新を行います。リモコン画面のネットワーク接続状態が未接続（「リモコンの表示画面の見かた」➡ P.7）になっていた場合は、インターネットにアクセスが出来ないため、セキュリティ上の問題に対応した最新のソフトウェアが公開されても、本製品を最新のソフトウェアに更新が出来ません。既設ネットワーク環境に応じたネットワーク設定を行ってください。（「ネットワークの設定をする」➡ P.33～P.38）

セキュリティ上の問題発覚時の公開場所：

<https://sumitomoelectric.com/jp/products/powerdepo#contact-us-section> の「さらに詳しく！」の下にある「脆弱性開示ポリシー」をクリックください。

リモコンを廃棄する場合

Wi-Fi 通信設定が外部に漏れるとセキュリティ上の危険性が高くなるため、リモコンを破棄する場合は、設定の初期化を必ず実施ください。（「設定を初期化する」➡ P.45）

コールセンターに問い合わせたときにシステム情報を確認する場合

蓄電システムに登録されている機器情報や設定内容をご確認いただけます。

【参考：機器情報一覧】

- リモコン製造番号
- リモコンソフトウェアバージョン
- モデル
- 施工 ID
- 郵便番号
- 蓄電システムタイプ
- 契約設定
- 併設太陽光発電設備
- 併設 PCS 容量
- 併設 PV パネル容量
- 疑似連系
- 現在の PV パネル容量
- 契約容量
- 設置日
- 本体製造番号
- 本体ソフトウェアバージョン
- 交流過電圧検出
- 交流不足電圧検出
- 周波数上昇検出
- 周波数低下検出
- 復帰時遮断装置投入
- 電圧上昇抑制
- 指定力率
- 無効電力最大注入量
- 出力制御対象
- スケジュール更新
- 発電所 ID
- 系統電流
- 系統電圧
- 蓄電システム出力容量

① リモコンのメニューボタンに触れる



② メニュー→機器情報を選び、決定ボタンに触れる



③ 下ボタンで確認する項目を選ぶ

次の内容をご確認いただけます。

機器情報 リモコン 製造番号 12XY56789 リモコン S/W Ver. RHM_02.000 ▲▼	機器情報 モデル PDH-6000S01 ▲▼	機器情報 施工 ID 1000000 郵便番号 900-0000 ▲▼	機器情報 蓄電システムタイプ ハイブリッド 契約設定 シングル ▲▼	機器情報 併設太陽光発電設備 あり 併設PCS容量 0.0kW 併設PVパネル容量 0.0kW ▲▼	機器情報 疑似連系 無効 ▲▼
機器情報 現在のPVパネル容量 6.0kW 蓄電システム出力容量 6.0kW 契約容量 30A ▲▼	機器情報 設置日 2023/03/13 本体 製造番号 19AE01011 本体 S/W Ver. PH1_1.EM ▲▼	機器情報 交流過電圧検出 115.0V 1.0秒 交流不足電圧検出 80.0V 1.0秒 ▲▼	機器情報 周波数上昇検出 51.0 / 61.2Hz 1.0秒 周波数低下検出 47.5 / 57.0Hz 2.0秒 ▲▼	機器情報 復帰時遮断装置投入 300秒 並列時許容周波数 50.10 / 60.10Hz ▲▼	機器情報 電圧上昇抑制 110.0V 指定力率 0.95 無効電力最大注入量 0.250p.u. ▲▼
機器情報 出力制御対象 非対象 ▲▼	機器情報 出力制御対象 対象 スケジュール更新 自動 ▲▼	機器情報 発電所ID 01 0000 0000 0000 0000 0000 0000 ▲▼	機器情報 系統電流 U: 1.0A W: 1.0A 系統電圧 U: 101.1V W: 101.2V ▲▼		

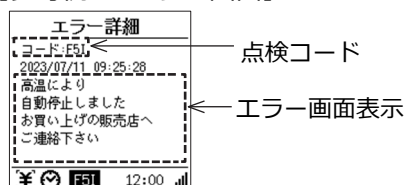
※機器の設置条件や設置タイプによって、表示されない画面があります。

エラー表示に関して

エラーの対応方法

点検コードが表示された場合、エラー音が鳴り、エラー画面が表示されます。エラー音は決定ボタンに触れると、その都度エラー音は消すことができます。

【参考例：エラー画面】



エラーには「F」、「E」、「W」、「C」、「N」、「R」の6種類があります。

リモコンにエラーが発生した場合は、まず点検コードをご確認ください。お客様ご自身で対応が可能な場合は、リモコンの画面からエラー解除を行っていただけますようお願いいたします。

※複数のエラーが発生した場合、画面下部に点検コードが表示されており、ホーム画面を表示している場合、決定ボタンに触れると発生中のエラー・お知らせ一覧に遷移できます。

「F」の点検コードの内容と処置のしかた

本点検コードは故障時に発生します。下記の処置を行ってください。

点検コード	エラー音	内容	処置
Fxx ※「xx」には、0～9とA～Z (英数字)が入ります。 (例：F24)	有	故障時に発生する点検コードです。	蓄電システムの故障です。お客様では復帰できないためお買い上げの販売会社またはコールセンター（➡裏表紙）へご連絡ください。

「E」の点検コードの内容と処置のしかた

本点検コードは蓄電システムが保護停止して自動復旧をできない場合に発生します。故障の可能性があります。エラー解除により自動復旧する場合もあるため、下記の処置を行ってください。

点検コード	エラー音	内容	処置
E02、E04、E07、E08、 E10、E11、E13、E14、 E15、E17、E18、E19、 E32、E33、E34、E36、 E37、E38、E57、E60、 E62、E65、E67、E71、 E72、E74、E75、E76、 E88、E89、E90、E92、 E94、E98、E3C、E5D、 E5E、E5J、E5U、E5W、 E7A、E7B、E7C、E7D、 E7E、E7F、E7G、E7H、 E7I、E7J、E7K、 E7L、E7M、E7N、E7P	有	保護機能により一時停止したことで発生する点検コードです。	エラー解除を実行ください。ご使用の家電によっては稀に誤検知が発生する場合があります。問題が無い場合、蓄電システムは自動で運転を再開します。エラー解除操作後も、エラーが継続する場合、故障している可能性が高いため、お買い上げの販売会社またはコールセンター（➡裏表紙）へご連絡ください。 (「点検コードを解除する」➡P.60)
E58	有	電池電圧が低いときに表示されるエラーです。	エラー解除を実行ください。ご使用の家電によっては稀に誤検知が発生する場合があります。問題が無い場合、蓄電システムは自動で運転を再開します。再度エラーが表示された場合、お客様では復帰できないエラーのため、お買い上げの販売会社またはコールセンター（➡裏表紙）へご連絡ください。
E66	有	漏電している可能性があるときに表示されるエラーです。	エラー解除を実行ください。誤検知の場合、蓄電システムは自動で運転を再開します。再開しない場合、太陽光発電等からの漏電が発生している可能性があるため、本体には近づかないでください。設置業者様へご連絡ください。

点検コード	エラー音	内容	処置
E12、E13、E15、E19、E35、E39	有	停電時に使用家電の消費電力が蓄電システムの規定電力を超えたときに発生するエラーです。	消費電力が大きい家電のご使用をお控えください。使用家電を減らした後、エラーを解除ください「(点検コードを解除する) ➡ P.60」。自動で運転が再開します。使用電力が減らない状態でエラー解除すると停止・再起動を繰り返す可能性がありますのでご注意ください。
E40、E46、E55、E5H	有	高温により蓄電システム本体が自動停止したにもかかわらず温度が下がらない場合に発生するエラーです。	周囲に熱源がないか、設置条件 (➡ P.10) に問題がないかご確認の上、温度低下後にエラーを解除ください「(点検コードを解除する) ➡ P.60」。温度低下前に解除した場合、再度エラーが表示されます。直射日光が当たっている場合は、簾等の日よけを利用することで、温度が下がりやすくなります。日よけの設置はお買い上げの販売会社にご相談ください。また背面カバー下部の吸気フィルターが詰まっている場合は、吸気フィルターを掃除することで温度が下がる可能性があります「(背面カバー下部の吸気口が目詰まりをした場合) ➡ P.54」。蓄電システムの温度が下がった後に、エラー解除しても本エラーが継続する場合、故障の可能性があります。お買い上げの販売会社またはコールセンター (➡ 裏表紙) へご連絡ください。
E54、E5Q	有	低温により蓄電システム本体が自動停止したにもかかわらず温度が上がらないときに発生するエラーです。	設置条件 (➡ P.10) に問題がないかご確認の上、温度上昇後にエラーを解除ください「(点検コードを解除する) ➡ P.60」。温度が上昇する前に解除した場合、再度エラーが表示されます。蓄電システムの温度が上がった後に、エラー解除しても本エラーが継続する場合、故障の可能性があります。お買い上げの販売会社またはコールセンター (➡ 裏表紙) へご連絡ください。

エラー表示に関して つづき

「W」の点検コードの内容と処置のしかた

本点検コードは蓄電システムが保護停止して自動復旧しようとしたときに発生します。下記の処置を行ってください。

点検コード	エラー音	内容	処置
W1B、W30	有	蓄電池の残量が無くなった場合に発生する点検コードです。	充電が再開されるまで、お待ちください。配電系統もしくは、太陽光発電（余剰電力）からの電気供給が再開されることで自動復帰します。
W12、W19、W35	有	停電時に使用家電の消費電力が蓄電システムの規定電力を超えたときに発生する点検コードです。	消費電力が大きい家電のご使用をお控えください。使用電力を減らしていない場合、停止・再起動を繰り返す可能性がありますのでご注意ください。
W65、W5B、W5C、W5G、W5L、W5M、W5N、W5P、W5R、W5H、W62	有	保護機能により一時的に自動停止したときに発生する点検コードです。	蓄電システムの保護機能により自動で運転を再開します。運転再開までお待ちください。
W40、W46、W47、W59、W5S、W5T、W5I	有	高温により蓄電システム本体が自動停止するときに発生する点検コードです。	周囲に熱源が無いのか、設置条件（⇒P.10）に問題がないかご確認ください「（点検コードを解除する）⇒P.60」。温度が低下すると自動的に復帰します。直射日光が当たっている場合は、簾等の日よけを利用することで、温度が下がりやすくなります。日よけの設置はお買い上げの販売会社にご相談ください。
W54、W5J、W5K、W5Q	有	低温により自動停止するときに発生する点検コードです。	設置条件（⇒P.10）に問題がないかご確認ください。温度が上昇すると自動的に復帰します。蓄電システムの温度が上がるまでお待ちください。

「C」の点検コードの内容と処置のしかた

※本点検コードはお知らせになります。

通知を解除したい場合は「点検コード通知があった際の消し方」（⇒P.50）を実施してください。

点検コード	エラー音	内容	処置
C30	無	停電時に蓄電池の残量が低下(残量 10%以下)していることのお知らせです。	蓄電池の残量が減っています。充電は配電系統、もしくは太陽光発電（余剰電力）からの電気供給があれば自動で実施します。お知らせを既読として削除する場合、決定に触れてください。
C51	無	停電が発生したときに表示されるお知らせです。	停電が発生しました。お知らせを既読として削除する場合、決定に触れてください。
C50	無	停電から復旧したときに表示されるお知らせです。	配電系統が停電から復旧しました。通常どおり電気をご使用いただけます。お知らせを既読として削除する場合、決定に触れてください。
C14	無	設置から 14 年経過したときのお知らせです。	機器保証が終了する 1 年前となりますので、蓄電システムの置き換えをご検討ください。お知らせを既読として削除する場合、決定に触れてください。
C15	無	設置から 15 年経過したときのお知らせです。	機器保証が終了しましたので、蓄電システムの置き換えをご検討ください。本製品は 15 年経過後もご使用いただけます。蓄電池が著しく劣化した場合には、蓄電池としての機能は停止し、太陽光発電のパワーコンディショナ機能のみご使用いただけます。お知らせを既読として削除する場合、決定に触れてください。
C69、C6A、C6B、C6C	有	運転は引き続き可能です。しかし軽微な故障が発生しているため、継続使用することで、停電時の切替操作ができない等の重大な故障につながる可能性があります。	蓄電システムの修理が必要なため、お買い上げの販売会社またはコールセンター（⇒裏表紙）へご連絡ください。お知らせを既読として削除する場合、決定に触れてください。

点検コード	エラー音	内容	処置
C12	有	停電時に使用家電の消費電力が蓄電システムの規定電力付近になったときに発生するお知らせです。	消費電力がさらに増えると蓄電システムが停止しますので、家電の追加使用をお控えください。
C9A、C9C、C9E、C9F	有	故障により、停電から復旧しましたが、蓄電システムが連系運転に切替えることができませんでした。自立運転で稼働しているため、電力会社の電気をご使用いただけない状態です。	蓄電システムの修理が必要なため、お買い上げの販売会社またはコールセンター（➡ 裏表紙）へご連絡ください。暫定処置として蓄電システムの停止操作をして手動切替開閉器を「系統側」に変更してください（➡ P.53）。停電から復旧している場合、電力会社の電気をご使用いただけます。お知らせを既読として削除する場合、決定に触れてください。
C9G、C9H	有	停電により蓄電システムが正常に自立運転に切り替わりました。しかし、故障が発生しているため、停電復旧時に、蓄電システムを連系運転に切替えることができず、電力会社の電気をご使用いただけない状態になります。	蓄電システムの修理が必要なため、お買い上げの販売会社またはコールセンター（➡ 裏表紙）へご連絡ください。暫定処置として電力会社の電気が停電から復旧したことをご確認できましたら、蓄電システムの停止操作をして手動切替開閉器を「系統側」に変更してください（➡ P.53）。電力会社の電気をご使用いただけます。お知らせを既読として削除する場合、決定に触れてください。
C9B、C9D	有	停電から復旧したことにより蓄電システムが自立運転から連系運転に切り替わりました。しかし、故障が発生しているため、次回停電発生時に蓄電システムから電気を供給できない状態になります。	蓄電システムの修理が必要なため、お買い上げの販売会社またはコールセンター（➡ 裏表紙）へご連絡ください。お知らせを既読として削除する場合、決定に触れてください。
C9I、C9J	有	配電系統が停電しましたが、故障により、蓄電システムが自立運転に切替えることができず電気を供給できない状態です。停電から復旧した場合、蓄電システムは連系運転を開始し、電気をご使用いただける状態になります。	蓄電システムの修理が必要なため、お買い上げの販売会社またはコールセンター（➡ 裏表紙）へご連絡ください。お知らせを既読として削除する場合、決定に触れてください。
C31	有	蓄電池温度が動作温度の限界値に近づいたため、放電を制限している状態になります。	使用家電をコンセントから抜く等して消費電力を減らしてください。お知らせを既読として削除する場合、決定に触れてください。
C39	有	電池残量が残りがずかになったため、低消費電力モードになっております。	使用家電をコンセントから抜く等して消費電力を減らしてください。お知らせを既読として削除する場合、決定に触れてください。

エラー表示に関して つづき

「N」の点検コードの内容と処置のしかた

本点検コードはネットワークが接続できない場合に発生します。下記の処置を行ってください。

点検コード	エラー音	内容	処置
N02	無	Wi-Fi に接続できない状態が継続しています。	ご使用の無線 LAN ルータを再起動してください。Wi-Fi ルータの設定確認・電波強度をご確認の上でネットワークの設定を実施してください（「ネットワークの設定をする」➡ P.33～P.38）。問題が解決しない場合、お買い上げの販売会社またはコールセンター（➡ 裏表紙）へご連絡ください。
N03	無	インターネットに接続できない状態が継続しています。	蓄電システムと無線接続している、無線 LAN ルータからインターネットに接続できるかご確認してください（パソコン等でインターネットに接続できるかご確認してください）。インターネット接続確認後、ネットワークの設定（➡ P.33～P.38）を実施してください。問題が解決しない場合、加入しているプロバイダーにご相談ください。インターネットが正常にも接続されているにもかかわらず、本点検コードが継続する場合、お買い上げの販売会社またはコールセンター（➡ 裏表紙）へご連絡ください。

※緊急充電モード自動切替が有効設定で、対象の気象警報が発令された場合、N21 というコード表示と共にブザーを鳴らしますが、エラーではなく 24 時間経過後に自動で元の運転モードへ戻ります。

「R」の点検コードの内容と処置のしかた

本点検コードはリモコンの故障時に発生します。下記の処置を行ってください。

点検コード	エラー音	内容	処置
Rxx ※「xx」には、0～9 と A～Z（英数字）が入ります。（例：R04）	有	リモコンのエラーです。	お客様では復帰できないためお買い上げの販売会社またはコールセンター（➡ 裏表紙）へご連絡ください。

点検コードを解除する

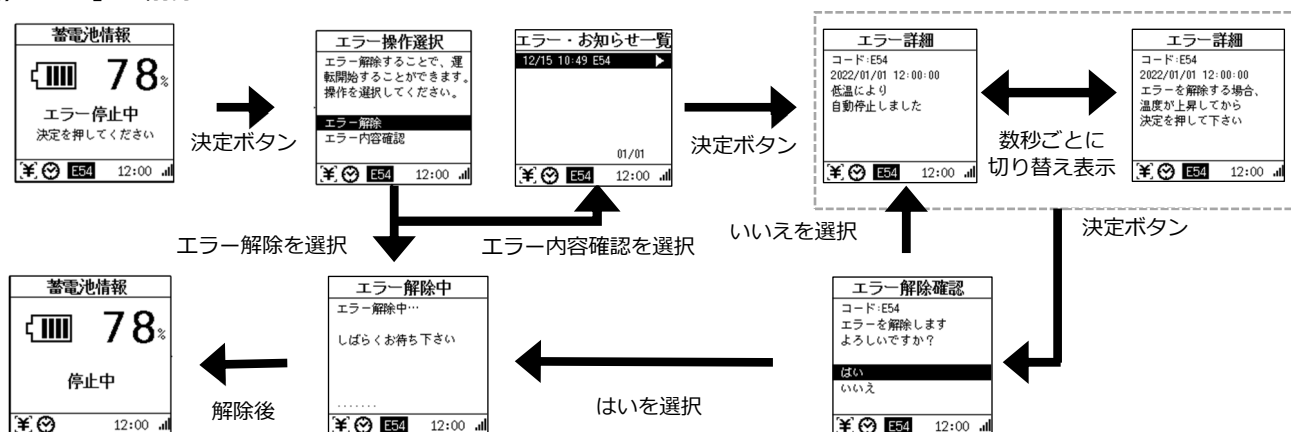
点検コード「Exx」は解除可能です。

点検コード「Wxx」は自動復帰します。「Fxx」は販売店またはコールセンター（➡ 裏表紙）へご連絡してください。

※「xx」には、0～9 と A～Z（英数字）が入ります。

●点検コードの削除フロー

例)「E54」を削除



保証とアフターサービス

保証について

無償修理規定

1 保証期間

- (1) 蓄電システム本体：無償修理の保証期間は製品設置完了日より15年間または初期実効容量11.9kWh (JEM1511による)の50%まで蓄電容量が低下した時点のいずれか早い方と致します。
- (2) リモコン：無償修理の保証期間は製品設置完了日より2年間と致します。

2 保証内容

- (1) 正常なご使用状態で、万一保証期間中に製品が故障した場合は、当社の選択により故障箇所を無償で修理又は代品提供（以下「修理等」という）致します。
- (2) 正常なご使用状態で、万一製品設置完了日から15年以内に蓄電システムの蓄電容量が初期実効容量の60%を下回った場合は、当社の選択により無償で修理等致します。ただし、積算放電容量が52.8MWh以上の蓄電システムについてはこの限りではありません。尚、蓄電システムの容量の確認に伴う費用はご負担いただきますが、確認の結果、無償での修理等の対象となる場合、当該費用は当社にて負担致します。

3 無償修理の保証対象外となる場合

- (1) 保証期間中であっても次の場合は無償修理の対象外となります。
 - (ア) 保証書のご掲示が無い場合。または、保証書に記載されている製品設置完了日、販売店名等の記載事項を変更された場合。
 - (イ) 仕様書や取扱説明書に記載された条件、環境等に適合しない保管、使用等に起因する故障・損傷。
 - (ウ) 製品設置完了後の落下・衝撃等による故障・損傷。
 - (エ) 火災、塩害、地震、風水害、落雷、異常電圧及びその他の天災地変による故障・損傷。
 - (オ) 水、泥、砂かぶり等が原因で発生した故障・損傷。
 - (カ) 当社或いは当社指定のサービスセンター以外による修理、改造、分解に起因する故障。
 - (キ) ご使用中に生じる外観上の変化（ケースの傷・変色・錆・汚れ、音、振動等）。
 - (ク) 保管上の不備や手入れの不備等による故障。
 - (ケ) お客様の装置やソフトウェアなど、当社製品以外に起因する故障。
 - (コ) 本製品出荷時の科学、技術水準では予見が不可能だった事由による故障。
 - (サ) 使用上避けられない消耗による障害・部品交換（消耗品交換）。
 - (シ) 禁止行為または不当な修理・改造による故障。
 - (ス) 低圧住宅用向け以外に使用された場合。
 - (セ) 鳥害、鼠害、虫害、小動物および植物に起因する故障。
 - (ソ) 異常な電気雑音、ノイズによる故障・損傷。
 - (タ) 本製品の故障を原因として損害保険金及び損害賠償金を受け取られた場合。
 - (チ) 設置工事に起因して本製品又は家屋に不具合が生じた場合。
 - (ツ) 本製品を設置完了時の取り付け場所から移動させたことによる故障・損傷。
 - (テ) 電力会社、太陽光発電システム、エネファーム、発電機等からの電気の供給トラブル、その他関係通信機器に起因する故障・損傷。
 - (ト) 車両等の衝突および落下物による故障・損傷。
 - (ナ) 故障した装置や機器に接続したことによる故障・損傷。
 - (ニ) 不正アクセスに起因する異常動作、故障・損傷、蓄電システムの劣化。
 - (ノ) 遠隔制御に起因する異常動作、故障・損傷、蓄電システムの劣化。
 - (ネ) その他、当社の責めに帰さない事由による故障・損傷、蓄電システムの劣化。
- (2) 本製品の故障時の修理等に関する当社の責任は、上記2(1)に記載の内容に限定されるものとし、本製品以外の装置、その他財産の修理等、保存中のデータの保護・喪失したデータの復元、修理等の期間中における本製品の使用不能に伴う損害について一切の責任を負いません。

保証とアフターサービス つづき

- (3) 本製品の故障に関し、不法行為責任、製造物責任、またはその他の法理に基づいて当社がお客様に対して法的責任を負う場合においても、当社の損害賠償責任は、その予見可能性の有無を問わず、本製品の購入代金を超えないものとします。ただし、当社の故意又は重過失により生じた損害についてはこの限りではないものとします。
- (4) 本製品は日本国内で使用してください。本書は日本国内においてのみ有効です。
- (5) 航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、生命維持に関わる医療機器など、極めて高い信頼性、安全性が要求される用途への本製品の使用は保証致しかねます。

※ この保証規定は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従って、この保証規定によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、無償修理保証の対象外となる場合、及び、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売元にお問い合わせください。

※ 国からの補助金の支給を受け設置された場合、法定耐用年数（6 年間）の期間、本製品の取扱説明書、及び本体貼り付けラベルに従い適切な管理、運用を図るようお願いします。

※保証書の発行申請が完了しないと保証書の発行ができませんのでご注意ください。

保証書の発行を受けるためには購入元の販売店又は施工業者から弊社に対して所定の申請を実施頂く必要があります。お買い上げの販売店又は施工業者に申請手続きをご確認いただき、忘れずに申請するようにご依頼ください。保証書の発行申請が完了すると弊社よりお客様に保証書を送付致します。紛失しないよう大切に保管してください。

※保証書の発行申請が完了しないと保証書の発行ができませんのでご注意ください。

アフターサービスについて

●ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

お買い上げの販売会社またはコールセンター（➡ 裏表紙）へお問い合わせください。

●修理を依頼される時

修理を依頼される場合、次のことをお知らせください。

- ・お買い上げ時期
- ・装置の型番と製造番号（装置側面の定格ラベルに表示）
- ・故障の状況（点検コード、故障発生時の時間と天候など）

●移設等で蓄電システム・リモコンを一時保管される場合は屋内（湿気の少ないところ）に保管してください。

- ・お客様ご自身では移設を行わないでください。

見守りサービス

見守りサービスとは、本製品の稼働状況をインターネットを介して取得する機能を活用して、故障時には遠隔で本製品の動作情報を取得し、速やかな原因特定と対処に役立てるサービスです。また、本製品の異常を検知した場合、スマホモニターを介してお客様にお知らせします。（本製品の設置後 15 年間無料で提供されます。）

本サービスはお客様が利用するかどうかを自由に選択できます。又、本製品をインターネットに接続しない場合、見守りサービスをご利用いただくことができません。又、本サービスは本製品の異常を検知することを保証するものではなく、あくまで補助的なものです。

※本製品がインターネットに接続されていない場合に異常として判別して、お客様にご連絡することは致しませんのでご注意ください。インターネットへの接続状態はリモコン画面の表示からご確認ください（➡ P.7）。又、トラブル時には「ネットワークの設定（➡ P.33～P.38）」をご確認ください。

お客様の個人情報の取得・取扱いに関して

本製品の販売、設置工事、アフターサービス等の業務（以下、本業務といいます。）の実施に際して住友電気工業株式会社（弊社）が取得するお客様に関する情報（以下、個人情報等といいます。）に関し、以下の事項をお知らせいたします。

1. 弊社が取得する個人情報等の取扱い

弊社は、本業務の実施に際して「出荷証明書兼保証書」「設置完了報告書」にご記載頂いた情報、設置工事に際してヒアリングさせて頂いた情報、その他アフターサービス（販売店へのお問い合わせ対応、専用ダイヤルへのお問い合わせ対応を含みます。）を通じて取得した情報等に含まれるお客様の個人情報等を、個人情報保護に関する法令およびその他の規範、弊社の個人情報の管理・保護に関する基本方針「個人情報保護方針」（以下、基本方針といいます。）ならびにその他関連するガイドライン等に基づき、適切にこれを取り扱います。又、弊社は、個人情報等の正確性及び安全性を確保するため、情報セキュリティ対策をはじめとする安全対策を実施し、個人情報等への不正アクセス又は個人情報の紛失、破壊、改ざん、漏えい等の防止を図ります。

2. 個人情報等の利用目的

弊社は、前項のお客様の個人情報等を、本製品及び関連するサービスの提供・提案、その他情報提供（カタログの送付を含む）、契約の履行、サポート対応、通知者のその他製品・サービスのご案内、製品開発、商談、打ち合わせ、連絡、セミナー、展示会、イベントについての情報提供、お問い合わせ・ご相談への対応、アンケート調査実施、分析等の目的に限り利用させていただきます。

3. 個人情報等の第三者への提供

- 弊社は、個人情報等の利用目的の達成に必要な限度において、個人情報保護に関する措置を講じたうえで、個人情報等を販売店、保険会社、中間流通事業者、設置工事業者、アフターサービスの業務委託先等に提供する場合があります。
- 弊社は、匿名加工情報を第三者に提供する場合、法令に従って匿名加工情報の作成または第三者への提供に際してその旨を公表又は個別にお客様に通知し、もしくはお客様の同意の取得をいたします。
- 上記の他、弊社は、お客様の同意を得た場合又は法令に定めのある場合を除き、お客様の個人情報等を第三者に提供いたしません。

4. 保有個人データの開示、訂正、利用停止等

弊社は、法令に定める保有個人データについてお客様ご本人から開示、訂正、利用停止等の請求がある場合には、それぞれ基本方針及びその細則に所定の金額・方法により適切に応じます。

5. 個人情報に関するお問合せ窓口

事業者の名称 : 住友電気工業株式会社
お問合せ窓口 : パワーエレクトロニクス事業開発部 個人情報管理担当
住 所 : 〒554-0024 大阪市此花区島屋一丁目1番3号
電話番号 : 06-6466-6974（受付時間： 平日 9:00～17:00）

6. ご参考

- 最新の基本方針及び細則は弊社のウェブサイト（<https://www.sei.co.jp/privacy/>）から閲覧できますので、ご確認頂きますようお願い申し上げます。又、本製品に固有のお客様の個人情報の取得・取扱いについては、本製品のプロモーションサイトにおいても公表している場合がありますので、併せてご確認頂きますようお願い申し上げます。
 - 尚、基本方針及びその細則（本項目の内容を含みます。）は、必要に応じて、予告なく変更されることがあります。法令上お客様の同意が必要となる変更を実施する場合、変更後の内容は当社所定の方法によりお客様の同意がご確認されたものが有効となります。
- ・ 販売店、中間流通事業者、設置工事業者、アフターサービスの委託先等を通じて、個人情報の取扱いをご確認させて頂くこともあります。

仕様

機器仕様

型番		PDH-6000S01、PDH-6000S01A
外形寸法	本体	W840 mm × H1,200mm × D380 mm ただし、脚部D400 mm
	リモコン	W100 mm × H130 mm × D21 mm
質量	本体	約230 kg
	リモコン	約175 g
太陽光 (ハイブリッドタイプとして使用する 場合)	最大入力電力	2.2 kW／1入力、8.8 kW／4入力
	運転可能電圧範囲	DC 45※1～450 V
	定格入力電圧	DC 300 V
	短絡耐量	15 A
	最大動作電流	14 A
蓄電池	蓄電池容量	12.8 kWh
	初期実効容量	11.9 kWh (JEM 1511による)
	蓄電池種類	リチウムイオン電池
	蓄電池定格電圧	DC 約200 V(パック全体)
系統連系	最大出力	6.0 kVA (指定 力率0.95のとき5.7kW)
	最大入力	5.9 kVA (指定 力率0.95のときにおいても最大5.9kW) ※最大需要電力AC5.9kVA
	定格出力電圧	AC 202 V
	定格周波数	50または60 Hz
	出力電流歪率	総合電流歪率5%、各次電流歪率3%以下 (定格出力時)
自立運転	最大皮相電力	6.0 kVA (各相3.0 kVA)
	出力電気方式	単相3線式
	定格電圧範囲	AC 202±12 V (各相AC 101±6 V)
動作温度		・本体：-20℃～45℃ (太陽光パワーコンディショナ・蓄電池) ※太陽光パワーコンディショナまたは蓄電池の温度、蓄電池の充電残量との組み合わせに基づき出力抑制する場合があります。 ・リモコン：-10℃～40℃
騒音		・最大出力時：45dB以下 (正面 1mでの値) ・夜間など出力が小さいとき：40dB以下 (正面1mでの値)
交流接続部負荷容量	出力電流	最大75 A

※1：コンバータの動作開始電圧の下限値は 60 V です。

出力制御に関して

本製品は、平成 27 年 1 月 22 日に公布されました、「再生可能エネルギー特別措置法施行規則の一部を改正する省令と関連告示」に対応する機器となる予定です。

再生可能エネルギーを最大限導入するため、出力制御を行う機器の設置が経済産業省の省令により義務づけられています。送配電事業者より出力制御設定の要請があった場合は、出力制御の設定を行ってください。

※出力制御は地域により対応が異なります。詳しくは、各送配電事業者にお問い合わせください。

出力制御対象の場合、送配電事業者からご契約者様または申込代行業者様へ郵送にて連絡があります。

詳しくは送配電事業者にお問い合わせください。

「出力制御」の設定方法については、お客様ご自身では設定を変更できませんので、詳細は販売店又は施工業者にご連絡ください。

※出力制御対応となった場合は、原則ネットワークの接続設定が必須になります。

【出力制御 Q&A】

Q.「出力制御」とは？

A. 出力制御には、①需給バランスによるものと、②送電線の容量（電力システムの安定性を含む）によるものがあります。

①需給バランス制約による出力制御とは

電気が需要以上に発電されて余ったときに発生するのが「需給バランス制約による出力制御」です。電気の需要と供給を一致させるためには、需要に合わせて市場で取引された電源等を動かすとともに、常時変動する需要に合わせて、電気の安定供給に必要な電源を調整することで需給バランスを維持しています。近年では、再生可能エネルギーの導入が進んだことにより、需要が少ない時期などには、火力発電の出力の抑制や地域間連系線の活用等により需給バランスを調整した上で、それでもなお電気が余るおそれがある場合に再生可能エネルギーの出力制御を行っています。

②系統容量による出力制御とは

送電線・変圧器に流すことのできる電気の量には上限があり、これを超過して電源を接続した場合には、日々の運用において上限を超えるおそれがあるときに電源の出力制御が必要になります。これを「系統容量による出力制御」といいます。

(引用)：経済産業省 資源エネルギー庁 なるほど！グリッド 出力制御について

https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saiene/grid/08_syuturyokuseigyo.html

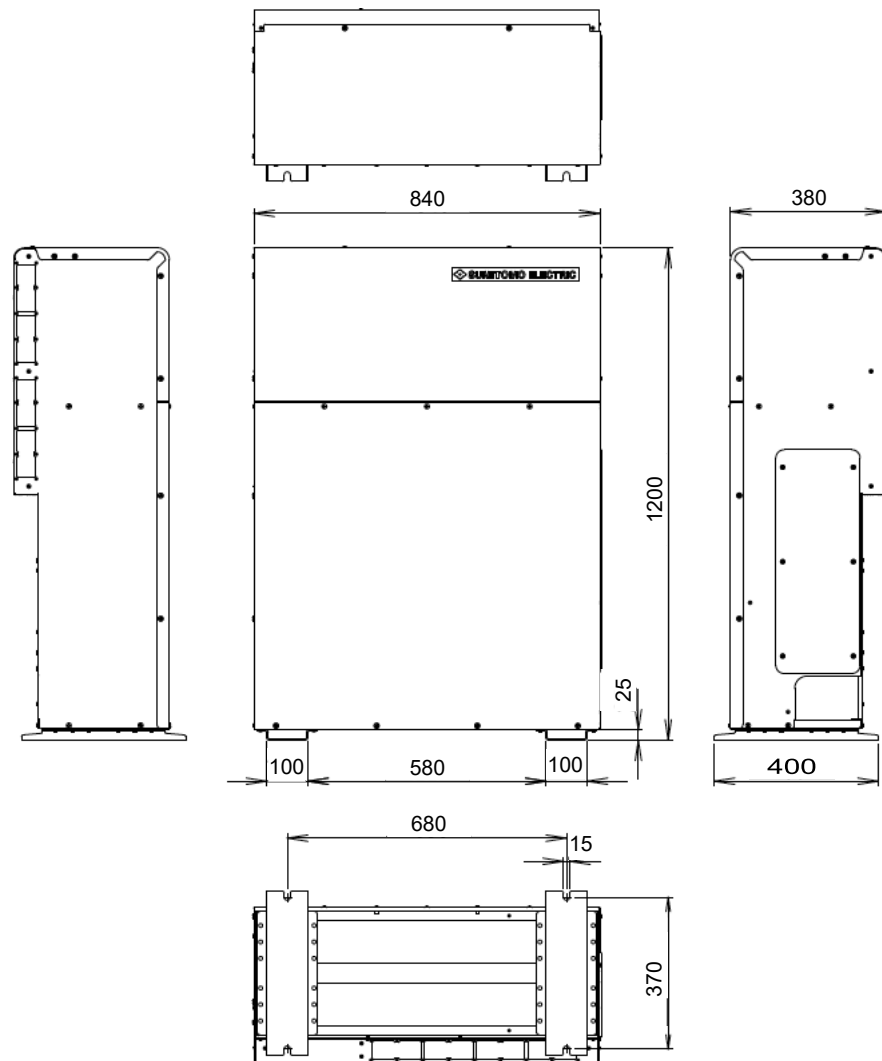
ソフトウェアライセンスに関して

本製品で使用するソフトウェアライセンスは、下記 POWER DEPO®のホームページからご確認ください。

<https://sumitomoelectric.com/jp/products/powerdepo>

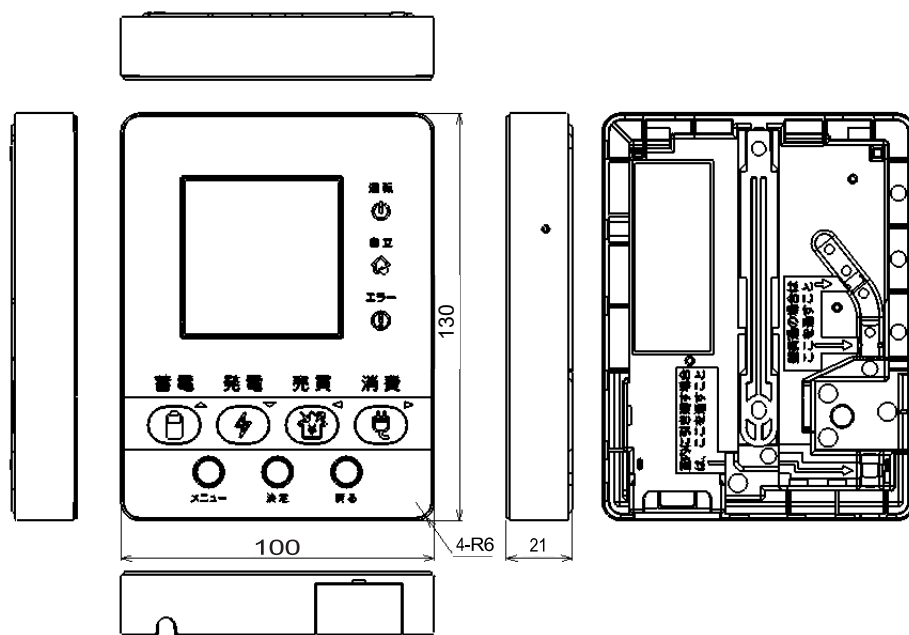
外形寸法

■本体 (約 230 kg)



単位 : mm

■リモコン (約 175 g)



単位 : mm

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

◆ 住友電気工業株式会社		
修理・アフターメンテナンス のご用命は、 「弊社専用ダイヤル」へ	 0120-690-285 (無料)	受付時間 平日・土・日・祝 9：00～17：00 (ただし、大型連休時は 受け付けておりません)

当説明書に記載の情報は 2026 年 4 月時点のものです。
最新の取扱説明書は、弊社のウェブサイトでご覧いただけます。
製品の仕様変更等により、取扱説明書の内容を予告なく変更する場合があります。
<https://sumitomoelectric.com/jp/products/powerdepo/partner/hdocument>
本書で登場するシステム名、製品名は一般に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。
なお、本文中では™、®マークは明記していません。

